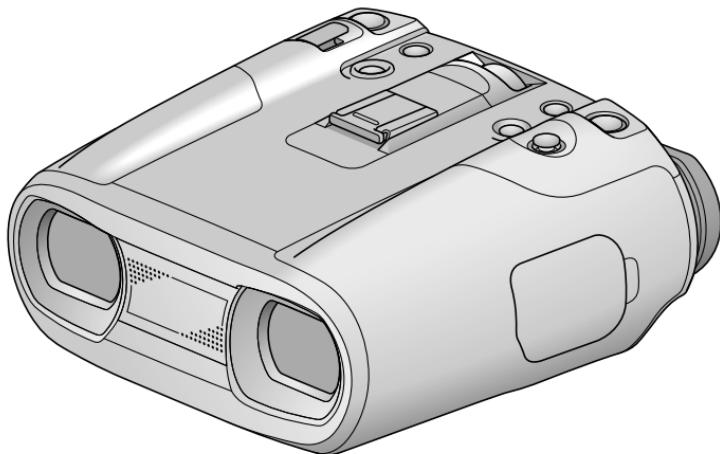


デジタル録画双眼鏡ハンドブック
DEV-30/50/50V

目次

メニュー/リスト

索引

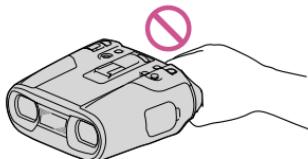


使用前に必ずお読みください

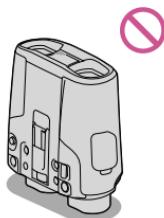
故障や破損の原因となるため、特にご注意ください

- 次の部分をつかんで持たないでください。
また、バッテリー／メモリーカードカバー／端子カバーをつかんで持たないでください。

ファインダー



- ファインダー部分を下にして置かないでください。



- 本機は防塵・防滴仕様です。本機の取り扱いについては、5ページをご覧ください。

メニュー項目、ファインダー、およびレンズについて

- 灰色で表示されるメニュー項目などは、その撮影・再生条件では使えません（同時に選べません）。
- ファインダーは有効画素99.99%以上の非常に精密度の高い技術で作られていますが、黒い点が現れたり、白や赤、青、緑の点が消えなったりすることがあります。これは故障ではありません。これらの点は記録されません。
- ファインダーやレンズを太陽に向けたままになると故障の原因になります。
- 直接太陽を撮影しないでください。故障の原因になります。夕暮れ時の太陽など光量の少ない場合は撮影できます。

言語設定について

- 画面に表示される言語は変更できます。本機を使用する前に、表示言語を設定してください（16ページ）。

録画・録音について

- メモリーカードの動作を安定させるために、メモリーカードを本機ではじめてお使いになる場合には、まず、本機でフォーマット（初期化）することをおすすめします（58ページ）。フォーマットすると、メモリーカードに記録されている全てのデータは消去され、元に戻すことは出来ません。大切なデータはパソコンなどに保存しておいてください。
- 事前にためし撮りをして、正常な録画・録音を確認してください。
- 万一、本機やメモリーカードなどの不具合により記録や再生がされなかった場合、画像や音声などの記録内容の補償については、ご容赦ください。
- あなたが本機で録画・録音したものは個人として楽しむほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。なお、実演や興行、展示物などのうちには、個人として楽しむなどの目的があっても、撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。
- 本機はご利用になる場所の規則に従ってお使いください。
- 本機で使えるメモリーカードについては、16ページをご覧ください。

再生に際してのご注意

- 本機で記録した映像は、本機以外の機器では正常に再生できない場合があります。また、他機で記録した映像は本機で再生できない場合があります。

ハイビジョン画質で記録したDVDについて

- AVCHD規格対応機器でのみ、再生できます。DVDプレーヤーやDVDレコーダーはAVCHD規格に非対応のため、ハイビジョン画質で記録したディスクを再生できません。また、これらの機器にAVCHD規格で記録したハイビジョン画質のディスクを入れた場合、ディスクの取り出しができなくなる可能性があります。

撮影した画像データは保存してください

- 万一のデータ破損に備えて、撮影した画像データを定期的に保存してください。パソコンで保存するには34ページ、他機で保存するには38ページをご覧ください。
- []で選ばれている設定によっては、保存できないディスクがあります。[60p画質]([50p画質])または[最高画質]にして撮影した動画は、外付けメディアとブルーレイディスクのみに保存できます(36, 40, 42ページ)。

バッテリー・電源アダプターについて

- バッテリーやACアダプターは、電源を切ってから取り外してください。
- ACアダプターを本機から抜くときは、DCプラグと本機を持って取り外してください。

本機やバッテリーの温度について

- 本機やバッテリーの温度によっては、本機を保護するために撮影や再生ができなくなることがあります。この場合は、本機の画面にメッセージが表示されます(70ページ)。

パソコンやアクセサリーなどとの接続について

- パソコンから本機のメモリーカードをフォーマットしないでください。正常に動作しなくなります。

• 本機をケーブル類で他機と接続するときは、端子の向きを確認してつないでください。無理に押し込むと端子部の破損、または本機の故障の原因になります。

画像が正しく記録・再生されないとときは[フォーマット]してください

- 長期間、画像の撮影・消去を繰り返していると、メモリーカード内のファイルが断片化(フラグメンテーション)して、画像が正しく記録・保存できなくなる場合があります。このような場合は、画像を保存したあと、[フォーマット](58ページ)を行ってください。

別売のアクセサリーについて

- ソニー純正アクセサリーの使用をおすすめします。
- 国や地域によっては発売されていないものもあります。

本書の表記、イラスト、画面表示について

- 画像の例としてスチルカメラによる写真を使っています。画像や本機の画面表示は、実際に見えるものと異なります。また、本機のイラストや画面表示は、わかりやすくするために誇張、省略されています。
- 本書では、ハイビジョン画質で保存したDVDディスクを「AVCHD記録ディスク」と表現しています。
- 本機やアクセサリーの仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

3D映像の視聴について

- 3D映像の視聴中に目の疲労、疲れ、気分が悪くなるなどの不快な症状が出ることがあります。3D映像を視聴するときは、定期的に休憩をとることをおすすめします。必要な休憩の長さや頻度は個人によって異なりますので、ご自分でご判断ください。
不快な症状が出たときは、回復するまで3D映像の視聴をやめ、必要に応じて医師にご相談ください。
本機に接続する機器やソフトウェアの取扱説明書もあわせてご覧ください。
なお、お子さま(特に6歳未満の子)の視覚は発達段階にあります。お子さまが3D映像を視聴する前に、小児科や眼科などの医師にご相談いただくことをおすすめします。
大人のかたは、お子さまが上記注意点を守るよう監督してください。

取扱説明書について

基本的な操作方法を記載した「取扱説明書」と、機能の詳細などを記載した「デジタル録画双眼鏡ハンドブック(PDF)」があります。

取扱説明書

準備から撮影、再生など、本機の「基本操作」を記載しています。

デジタル録画双眼鏡ハンドブック (PDF)

メニューの詳細説明や、パソコンや他機を使った保存の方法など、本機の「機能の詳細」を記載しています。

取り扱い上のご注意

- 周囲の状況に注意をはらって、ご使用ください。特に、歩きながら本機を使用しないでください。事故やけがの原因となります。
- 本機で次のことになると、メモリーカードが壊れたり、記録した映像が再生できなくなったり、失われたりする場合があります。また、本機の故障の原因になります。
 - アクセスランプ(17ページ)が点灯、点滅中にメモリーカードを取り出す
 - 本機の (動画)ランプ/ (静止画)ランプ(20ページ)や、アクセスランプ(17ページ)が点灯、点滅中に本機からバッテリーやACアダプターを取り外したり、本機に衝撃や振動を与える
- ネックストラップを使用中は、本機を背中にまわさないでください。けがのおそれがあります。また、本機を物にぶつけないように注意してください。

防塵防滴性能について

本体部はJIS/IEC保護等級IP54相当(当社試験方法による)の防塵防滴性能があります。急な雨や砂埃の中でも、内部の動作に影響なくご使用いただけます。

- 防塵性能(IP5x)：有害な影響が発生するほど の粉塵が中に入らない構造です。粉塵が中に入らない耐塵構造ではありません。
- 防滴性能(IPX4)：あらゆる方向からの水の飛まつによっても有害な影響がない構造です。シャワーや水道などの噴流水に対しては保護されません。
- アクセサリーを取り付けたとき、ACアダプターやケーブル類をつないだときは、防塵防滴なりませんので、ほこりや水が入らないようにご注意ください。
- 温泉をかけないでください。
- 落下などの強い衝撃を与えた場合は、防滴性能を保証しません。修理相談窓口での点検をおすすめします(有料)。
- お客様の誤ったご使用方法での故障については、保証対象外となりますので、以下の点を守って正しくご使用ください。

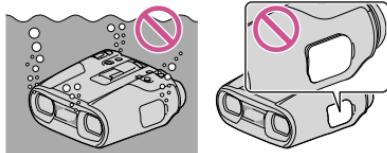
水中で使わない

本機は防水構造になっていないので水中では使用できません。絶対に水につけないでください。

バッテリー/メモリーカードカバーや端子カバーをしっかりと閉じる

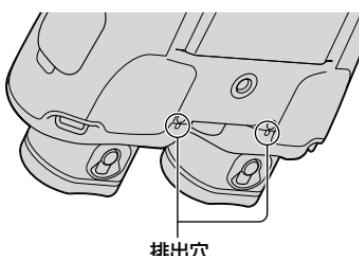
バッテリー/メモリーカードカバーや端子カバーが開いていると内部に水が入る原因になります。

雨天での使用中や、手に水や砂がついているときは、バッテリー/メモリーカードカバーや、端子カバーの開け閉めをしないでください。水や砂が本機の中に入つて故障の原因となります。



お手入れについて

- バッテリー/メモリーカードカバーや端子カバーのパッキンに砂、髪の毛、ほこりなどが挟まっていると、内部に水が入る原因になります。繊維の残らない柔らかい布等で拭き取ってください。
- パッキンに傷や変形、劣化があると内部に水が入る原因になります。傷がついたり変形、劣化してしまった場合は、修理相談窓口またはお買い上げ店にご相談ください。
- IPD ADJダイヤル部隙間やファインダー部から入り込んだ水や砂は最終的に底面にある排出穴から排出されます。



- 本機の各部に砂がかみこんで動きが悪いときは、プロアーなどで砂を取り除き、繰り返し動作させてください。

目次

使用前に必ずお読みください	2
3D映像の視聴について	4
取り扱い上の注意	4
取扱説明書について	4
防塵防滴性能について	5
お手入れについて	5

準備する

準備1：同梱品を確かめる	9
付属品を取り付ける	10
準備2：バッテリーを充電する	11
準備3：電源を入れて本機の設定をする	13
準備4：メモリーカードを入れる	16

双眼鏡／撮影／再生

双眼鏡として使う	18
撮影する	20
動画を撮る	20
静止画を撮る	21
本機で再生する	22
テレビにつないで再生する	24
接続方法一覧	24
ブラビアリンクを使う	26

応用操作

撮るときに便利な機能	27
カメラまかせでかんたんキレイに撮影する(おまかせオート)	27
録画モードを選ぶ	27
測位情報を記録する(GPS) (DEV-50V)	28
MANUALダイヤルでマニュアル調節する	29
本機で編集する	30
画像を削除する	30
記録した画像を保護する(プロテクト)	31
動画を分割する	32
動画から静止画を切り出す	32

パソコンを使って保存する

パソコンで見る	34
ソフトウェア「PlayMemories Home」でできること(Windows)	34
Mac用アプリケーション	34
パソコンの準備をする(Windows)	35
パソコン環境を確かめる	35
パソコンに「PlayMemories Home」をインストールする	35
「PlayMemories Home」を起動する	37
専用のソフトウェアをダウンロードする	37

他機を使って保存する

他機を使った保存のしかたを選ぶ	38
ディスクを再生できる機器は	38
外付けメディアを使って保存する	40
好みの動画・静止画を保存する	41
外付けメディアの画像を本機で見る	42
ソニー製ブルーレイディスクレコーダーを使って保存する	42
レコーダーなどで標準画質のディスクを作る	43

本機の設定を変える

メニューを設定する	45
メニュー一覧	46
⌚ 撮影モード(撮影の種類に関する設定)	49
📷 カメラ・マイク(好みの撮影をするときの設定)	49
▢ 画質・画像サイズ(画質や画像サイズに関する設定)	56
‣ 编集・コピー(編集に関する設定)	58
💼 セットアップ(その他のいろいろな設定)	58

その他

❓ 故障かな?と思ったら	65
自己診断・警告表示	70
記録時間・枚数について	74
バッテリーごとの使用可能時間の目安	74
動画の撮影可能時間の目安	74
静止画の撮影可能枚数の目安	75

海外で使う	76
テレビで見るには	76
使用上のご注意とお手入れ	78
AVCHD規格について	78
GPSについて(DEV-50V)	78
メモリーカードについて	79
InfoLITHIUM(インボリチウム)バッテリーについて	80
本機の取り扱いについて	81

各部のなまえ・索引

画面表示	84
各部のなまえ	85
索引	87

準備する

準備1：同梱品を確かめる

箱を開けたら同梱品がそろっているか確認してください。万一、不足の場合はお買い上げ店にご相談ください。

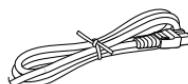
()内は個数。

本機(1)

ACアダプター(1)



電源コード(1)



HDMIケーブル(1)



マイクロUSBケーブル(1)



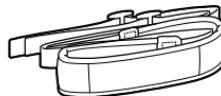
リチャージャブルバッテリーパック NP-FV70(1)



レンズキャップ(1)



ネックストラップ(1)



取扱説明書(1)

保証書(1)

CD-ROM「Manuals for Digital Recording Binoculars」(1)

- 「デジタル録画双眼鏡ハンドブック」
(PDF)

④ ご注意

- ・ソフトウェア「PlayMemories Home」と
「PlayMemories Home ヘルプガイド」は
Webからダウンロードしてください(35ペー
ジ)。

DEV-50/50Vのみに付属

キャリングケース(1)

ファインダーキャップ(1)



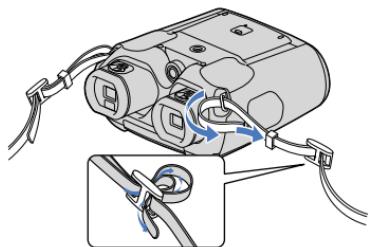
大型アイカップ(2)



付属品を取り付ける

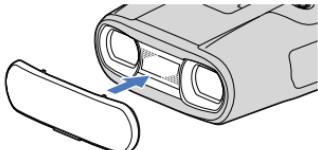
ネックストラップを取り付ける

落下防止のため、本機をご使用になる前に、次の手順で取り付けてください。
ストラップの先端を本機のストラップ取り付け部にとおしてから、留め具の内側にとおして固定します。



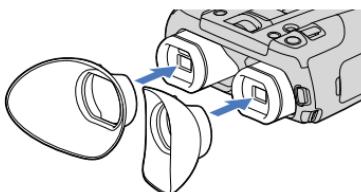
レンズキャップを取り付ける

本機を使用しないときは取り付けて保管してください。



大型アイカップを取り付ける (DEV-50/50V)

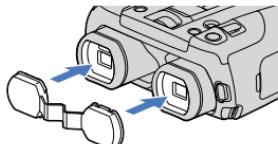
周囲が明るすぎる場合など、ファインダーの画像が見えにくいときは、付属の大型アイカップをお使いください。本体に装着されているアイカップの溝に合わせて取り付けます。



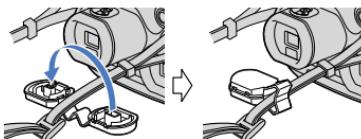
ファインダーキャップを取り付ける (DEV-50/50V)

本機を使用しないときは取り付けて保管してください。

アイカップの内側の溝にはめ込みます。



取り外したファインダーキャップは、
ネックストラップに取り付けることができます。



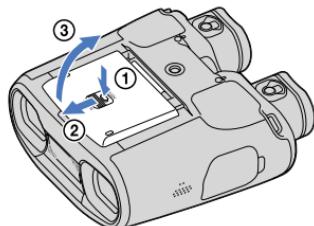
準備2：バッテリーを充電する

専用の“インフォリチウム”バッテリー(Vシリーズ)を充電します。

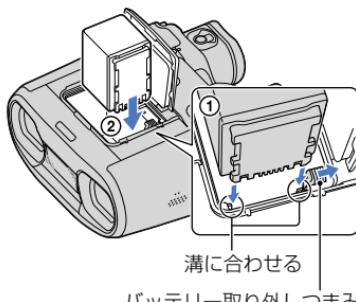
④ ご注意

- ・本機ではNP-FV70/FV100以外は使えません。
- ・バッテリーを充電するには、POWERボタンを押して、本機の電源を切ってから行ってください。

- 1 ボタンを押しながら(①)バッテリー/メモリーカードカバーを矢印の方向にスライドして(②)、カバーを開ける(③)。

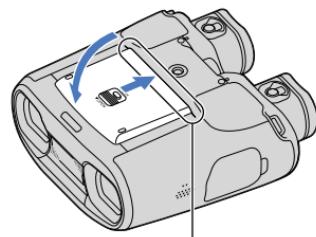


- 2 バッテリーで、バッテリー取り外しつまみを押しながら、スライド溝に合わせて(①)、「カチッ」と音がするまで押し込む(②)。



3

バッテリー/メモリーカードカバーを閉じる。



隙間がなくなるまでスライドする

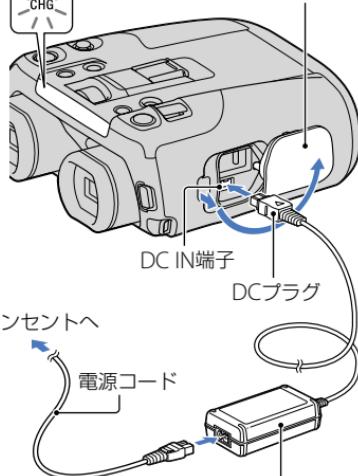
4

ACアダプターと電源コードを本機とコンセントにつなぐ。

CHG(充電)ランプ



開いて、回転する



コンセントへ

電源コード

DC IN端子

DCプラグ

CHG(充電)ランプが点灯し、充電が始まります。

充電が完了するとCHG(充電)ランプが消えます(満充電)。

5 充電が終わったら、ACアダプターを本機のDC IN端子から抜く。

充電時間

使い切った状態からのおよその時間(分)

バッテリー型名	満充電
NP-FV70	195
NP-FV100	390

- 25℃で充電したときの時間です。10℃～30℃での充電をおすすめします。

⌚ ちょっと一言

- 撮影・再生可能時間は、74ページをご覧ください。
- 電源を入れて撮影画面にすると、画面右上のバッテリー残量表示でおおよそのバッテリー残量(撮影・再生可能時間)を確認できます。

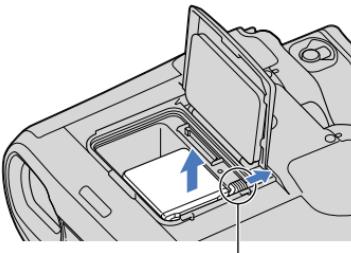
コンセントの電源で使うには

「準備2：バッテリーを充電する」(11ページ)のつなぎかたのまま操作する。

バッテリーを取り付けたままでもバッテリーの容量は消耗しません。

バッテリーを取り外すには

- ① POWERボタンを押して、本機の電源を切る。
- ② バッテリー／メモリーカードカバーを開ける(11ページ)。
- ③ バッテリー取り外しつまみを矢印の方向にずらしてバッテリーを取り出す。



バッテリー取り外しつまみ

海外で充電するには

付属のACアダプターを使って全世界で充電できます。ただし、地域によって電源プラグの形が異なるので変換プラグが必要です。旅行代理店などでご確認ください。

⚡ ご注意

- 電子式変圧器(トラベルコンバーター)は使用しないでください。

バッテリーについて

- バッテリーやACアダプターを取り外すときは、本機の電源を切り、**動画**(動画)ランプ/**撮影**(静止画)ランプ(20ページ)、アクセスランプ(17ページ)が消えていることを確認してください。
- 次のとき、充電中のCHG(充電)ランプが点滅することがあります。
 - バッテリーを正しく取り付けていないとき
 - バッテリーが故障しているとき
 - バッテリーの温度が低いとき
バッテリーを外して暖かいところに置いてください。
 - バッテリーの温度が高いとき
バッテリーを外して涼しいところに置いてください。

準備3：電源を入れて本機の設定をする

ACアダプターについて

- ACアダプターは手近なコンセントを使用してください。本機を使用中、不具合が生じたときはすぐにコンセントからプラグを抜き、電源を遮断してください。
- ACアダプターを壁との隙間などの狭い場所に設置して使用しないでください。
- ACアダプターのDCプラグやバッテリー端子を金属類でショートさせないでください。故障の原因になります。

電源コードについて

付属の電源コードは、本機専用です。他の電気機器では使用できません。

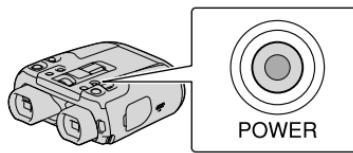
④ ご注意

- マイクロUSBケーブルを接続した状態で本機の電源を入れないでください。
- 設定中にマイクロUSBケーブルを接続しないでください。
- 使用者が変わる場合は、使用のたびに視度調整と眼幅調整を行ってください。

1

POWERボタンを押す。

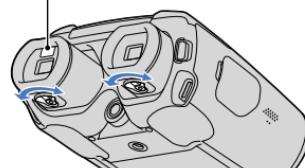
本機の電源が入ります。



2

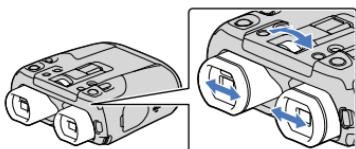
視度調整つまみを動かして、左右の眼それぞれで画像がはっきり見えるように合わせる。

アイセンサー



- 視度調整は右眼と左眼で交互に行ってください。
- ファインダーに目を近づけると、アイセンサーが反応してファインダー表示が出ます。

3 ファインダーの画像を見ながらIPD ADJダイヤルを回して、左右のファインダーの間隔を自分の眼幅に合わせる。

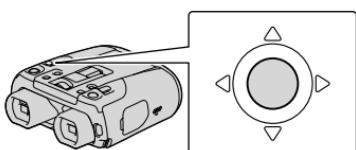


- 左右のファインダーの画像が見やすく重なる位置に合わせてください。
- 映像が二重に見えていることを確認してください。
- 調整可能な範囲の端を越えると、カチッとき音が鳴ります。それ以上ファインダーは移動しません。

4 マルチセレクターを使って、言語設定、エリア設定、サマータイム設定、日付表示設定、日時設定を行い、各設定を確認する。

マルチセレクターを使うには

- マルチセレクターを▲/▼/◀/▶に動かして項目を選び、マルチセレクターの中央を押して、選択を決定します。



それぞれの設定が完了したら[次へ]を選んでください。

- 再度、時計合わせをするには、[MENU](メニュー)→[セットアップ]→[⌚時計設定]→[日時設定]→[日時]の順に選びます。[日時設定]の項目が画面に表示されていないときは、▼/▲を使って項目を表示させます。

5 お使いの国、地域のテレビ方式に合わせて[60i(NTSC)]または[50i(PAL)]を選び、[OK]を選んで決定する。

60i/50i切換の設定をすると、システム変更のため本機は再起動します。

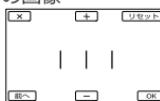
- お使いの国、地域のテレビ方式については、76ページを参照してください。



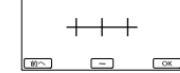
6 ファインダーの表示位置を確認する。

横線が縦線と重なって見えることを確認します。

左側ファインダーの画像



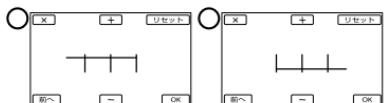
右側ファインダーの画像



両目で見たときの画像

横線と縦線が重なって見えない場合は、[+] / [-]で横線と縦線が重なるように画像を調整して、[OK]を選んでください。

- 次のように見える場合は問題ありません。



- 調整を行っても次のように見えた場合は使用を中止してください。



横線が縦線と重なっていない

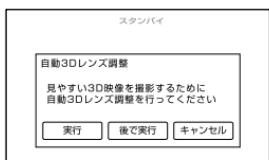


横線が極端に傾いている

正常に見えないときは、本機が変形、破損している場合があります。相談窓口にお問い合わせください。

7

[実行]を選ぶ。

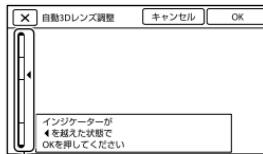


- [後で実行]を選ぶと撮影画面が表示されます。次回電源を入れたときに[自動3Dレンズ調整]画面が表示されます。

8 3Dレンズを調整する。

被写体を画面に表示します。

- インジケーターの目盛りが◀を超える被写体を選んで映し、[OK]を選んでください。



インジケーター

調整が完了するまで被写体を変えないでください。

⚠ ご注意

- [自動3Dレンズ調整]に失敗した場合は、[もう一度実行]を選んでください。

[自動3Dレンズ調整]時に画面に表示する被写体について

画面に表示する被写体によって、インジケーターの目盛りが変わります。

インジケーターの目盛りが上がりやすい被写体

- 屋外の明るい場所にある遠くの被写体
- 本機からの距離が20m以上の被写体
- さまざまな色や形などがある被写体



インジケーターの目盛りが上がりにくく、調整に失敗しやすい被写体

- 夜景や暗い場所にある被写体
- 本機からの距離が20m未満の被写体
- 模様や形が少ない被写体

準備4：メモリー カードを入れる

- ビルの窓のように同じ模様が繰り返される被写体
- 動きのある被写体



④ ご注意

- ・日付時刻は撮影時には表示されません。撮影したメモリーカードに自動的に記録され、再生時に表示させることができます。表示させるには、[MENU](メニュー)→[セットアップ]→[再生設定]→[日付/データ表示]→[日付時刻データ]→[OK]を選びます。

電源を切るには

POWERボタンを押します。

言語を変更するには

画面に表示される言語は変更できます。
変更するには、[MENU](メニュー)→[セットアップ]→[一般設定]→[言語設定]→ 使用する言語→[OK]を選びます。

本機で使えるメモリーカード

- "メモリースティック PRO デュオ"(Mark2)	本書では「メモリースティック PRO デュオ」と記載します。
- "メモリースティック XC-HG デュオ"	本書では「メモリースティック XC-HG デュオ」と記載します。
- SDメモリーカード - SDHCメモリーカード - SDXCメモリーカード	本書では「SDカード」と記載します。 SDスピードクラス Class4以上が必要です。

- ・すべてのメモリーカードの動作を保証するものではありません。
- ・本機で動作確認されている“メモリースティック PRO デュオ”は32GB、“メモリースティック XC-HG デュオ”は64GB、SDカードは64GBまでです。

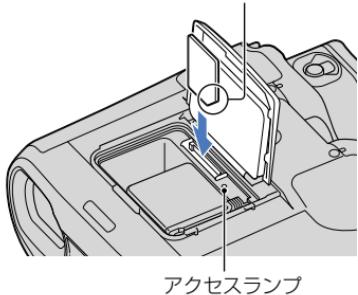
④ ご注意

- ・“メモリースティック XC-HG デュオ”、SDXCメモリーカードに記録した映像は、exFAT*に対応していないパソコンやAV機器などに、本機をUSBケーブルで接続して取り込んだり、再生したりできません。接続する機器がexFATに対応しているかあらかじめご確認ください。対応していない機器に接続した場合、フォーマット画面が表示される場合がありますが、決して実行しないでください。記録した内容が全て失われます。

* exFATは、“メモリースティック XC-HG デュオ”、SDXCメモリーカードで使用されているファイルシステムです。

1 バッテリー/メモリーカードカバーを開き(11ページ)、メモリーカードの切り欠き部を図の向きにして「カチッ」というまで押し込む。

切り欠きの向きに注意する



メモリーカードを取り出すには

バッテリー/メモリーカードカバーを開き、メモリーカードを軽く1回押して取り出します。

[管理ファイル準備中 しばらくお待ちください]が表示されたら、消えるまでそのままお待ちください。

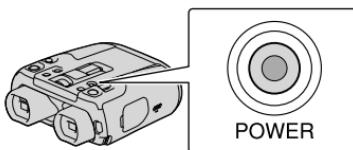
2 バッテリー/メモリーカードカバーを閉じる(11ページ)。

④ ご注意

- ・[管理ファイルを新規作成できませんでした 空き容量がたりない可能性があります]と表示されたときは、メモリーカードをフォーマットしてください(58ページ)。
- ・誤った向きで無理に入れると、メモリーカードやメモリーカードスロット、画像データが破損することがあります。
- ・撮影中にバッテリー/メモリーカードカバーを開けないでください。
- ・出し入れ時にはメモリーカードの飛び出しにご注意ください。
- ・アクセスランプ点灯中にメモリーカードを抜かないでください。撮影された動画、静止画が正常に記録されないことがあります。

双眼鏡として使う

1 POWERボタンを押す。

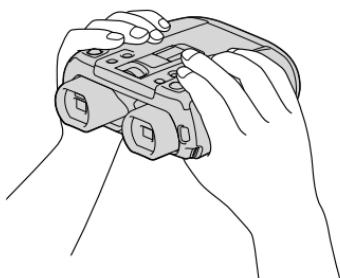


電源が入ります。

使用状況に応じて、起動時に各種調整画面が表示されることがあります。
調整を行ってから使用してください。

2 視度、眼幅、ファインダーの表示位置が合っていることを確認する(13ページ)。

3 本機を両手で持って被写体に向けて使用する。



- ズームレバーで倍率を調節できます。
- 本機はオートフォーカス機能により、ピント調節が自動で行われます(お買い上げ時の設定)。

ズームについて

ズーム時の双眼鏡倍率、ズーム倍率はそれぞれ下記のとおりです。

双眼鏡倍率

	DEV-30	DEV-50/50V
動画モード (2Dモード) ^{*1}	約0.8倍～ 約15倍 ^{*2} 約0.8倍～ 約10倍 ^{*3}	約0.8倍～ 約25倍 ^{*2} 約0.8倍～ 約12倍 ^{*3}
動画モード (3Dモード) ^{*1}	約0.5倍～ 約6倍	約0.5倍～ 約6倍
静止画モード	約0.5倍～ 約15倍 ^{*4}	約0.5倍～ 約25倍 ^{*4}

ズーム倍率

	DEV-30	DEV-50/50V
動画モード (2Dモード)	約20倍 ^{*2} 約13倍 ^{*3}	約33倍 ^{*2} 約16倍 ^{*3}
動画モード (3Dモード)	約12倍	約12倍
静止画モード	約33倍 ^{*4}	約55倍 ^{*4}

*1 [手ブレ補正]が[アクティブ]以外のとき

*2 [デジタルズーム]が[入]のとき(高倍率時には画質が劣化します)

*3 [デジタルズーム]が[切]のとき

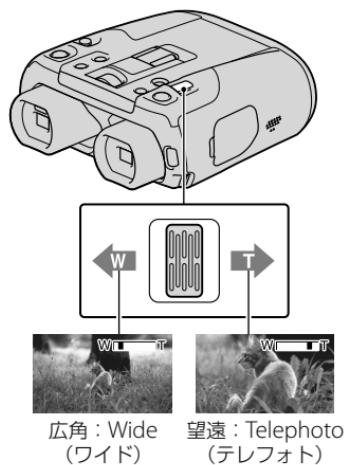
*4 高倍率時には画質が劣化します

ちょっと一言

- 双眼鏡倍率とは、ファインダーで見たときの被写体の大きさが、肉眼で見たときよりどれだけ大きい(何倍)かを示す数値です。
- ズーム倍率とは、ワイド端とテレ端とのときのレンズ焦点距離の比率です。

ちょっと一言

- [手ブレ補正]機能は、お買い上げ時の設定は[アクティブ]です。



ズームレバーを軽く動かすとゆっくり、さらに動かすと速くズームします。

⚡ ご注意

- ・ズームレバーから急に指を離さないでください。操作音が記録される場合があります。

マニュアルでピントを調節するには

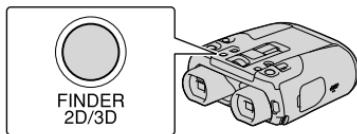
- ① マルチセレクターで、[MENU](メニュー) → [カメラ・マイク] → [マニュアル設定] → [フォーカス]を選ぶ。
- ② [マニュアル]を選んで、[◀] (近くにピント合わせ) / [▶] (遠くにピント合わせ) を選び、ピントを調節する。

💡 ちょっと一言

- ・自動ピント合わせに戻すには、[オート]を選んでください。

ファインダーの表示を切り換える

FINDER 2D/3D(ファインダー表示切り換え)ボタンを押すと、ファインダー表示が3Dと2Dで切り換わります。
お買い上げ時の設定は3Dです。



⚡ ご注意

- ・FINDER 2D/3D(ファインダー表示切り換え)ボタンを押しても、記録される画像は変化しません。

💡 ちょっと一言

- ・ファインダーの3D表示とは、左のレンズの画像を左のファインダーに、右のレンズの画像を右のファインダーに表示することです。
ファインダーの2D表示とは、左のレンズの画像を左右両方のファインダーに表示することです。

暗いところで使用するには(ハイパーゲイン)

ゲインを上げ、暗い場所でも明るく見ることができます。

[MENU](メニュー) → [カメラ・マイク] → [マニュアル設定] → [ハイパーゲイン] → [入]を選んでください。

⚡ ご注意

- ・ハイパーゲイン使用中はノイズにより画質が劣化します。また、画像の色が薄くなります。

💡 ちょっと一言

- ・マニュアルでのピント調整をおおすすめします。

撮影する

お買い上げ時の設定では、ファインダー表示は3Dですが(19ページ)、動画は2Dで記録されます。

POWERボタンを押す。

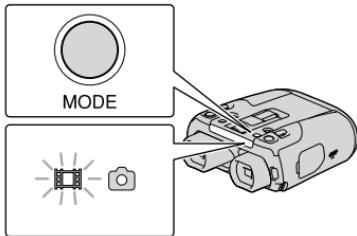
電源が入ります。

動画を撮る

1 (動画)ランプが点灯していることを確認する。

 (静止画) ランプが点灯しているときは、MODEボタンを押して、 (動画) ランプを点灯させる。

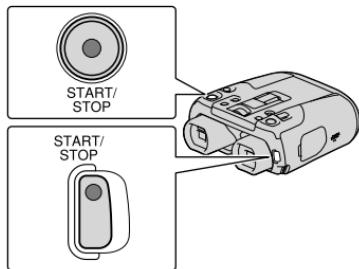
MODEボタン



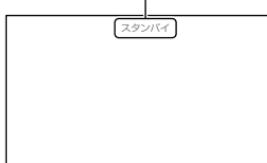
 (動画) : 動画を撮影するとき

 (静止画) : 静止画を撮影するとき

2 START/STOPボタンを押して動画の録画を始める。



【スタンバイ】 → 【●録画】



撮影中は録画ランプが赤く点灯します。

撮影をやめるときは、START/STOP ボタンをもう一度押します。

画面の表示をもう一度出すには

マルチセレクターを動かしてください。

[画面表示設定] で、設定を変更できます(56ページ)。

ご注意

- ・動画の連続撮影可能時間は以下のとおりです。
 - 2D時：約13時間
 - 3D時：約6時間30分
- ・電源を入れてから撮影が可能になるまで数秒かかります。その間、本機の操作はできません。

- 撮影終了後、次の状態のときは撮影したデータをメモリーカードに書き込み中です。本機に衝撃や振動を与えたときやバッテリーやACアダプターを取り外したりしないでください。
- アクセスランプ(17ページ)が点灯中、または点滅中
- 画面右上のメディアアイコンが動作中

ちょっと一言

- 撮影可能時間は74ページをご覧ください。
- 撮影可能時間や空き容量の目安などを確認するには、[MENU](メニュー)→[セットアップ]→[メディア設定]→[メディア情報]を選択します。

2D/3Dモードを切り換える

記録する動画の種類を2Dと3Dで切り換えられます。

[MENU](メニュー)→[画質・画像サイズ]→[2D/3Dモード切換]を選んでください。

ちょっと一言

- [2D/3Dモード切換]の設定を変えることで、再生される動画やHDMI端子から出力される動画も変わります。

3D撮影時の被写体との距離とズーム倍率

立体感のある3D動画を撮影するための距離はズーム倍率で異なります。以下の距離で撮影してください。

推奨撮影距離	ズーム
約2 m～(約9 m)	W ■■■ T
約6 m～(約16 m)	W ■■■ T
約24 m～(約30 m)	W ■■■ T

- 推奨撮影距離より遠い被写体は、立体感がなくなります。

ご注意

- 推奨撮影距離より近い被写体を3Dで撮影すると、不快な動画が記録されるため、おすすめしません。2Dモードで記録してください。
- 3Dモードでは、最大双眼鏡倍率は約6倍となります。より高倍率で被写体を観察・撮影したいときは、2Dモードに切り換えてください。

撮影時のデータについて

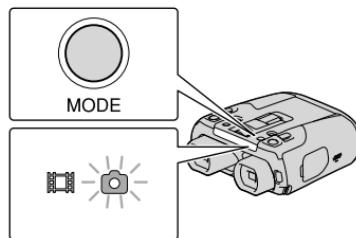
撮影時の日付時刻と撮影条件を示したカメラデータ、緯度経度データ(DEV-50V)が自動的に記録されます。これらのデータは、撮影中には表示されませんが、再生時に日付時刻/カメラデータ/緯度経度データ(DEV-50V)として確認できます(59ページ)。

静止画を撮る

1 MODEボタンを押して、(静止画)ランプを点灯させる。

静止画撮影モードに切り換わります。画面上の[MODE]ボタンを選んで、撮影モードを切り換えることもできます。

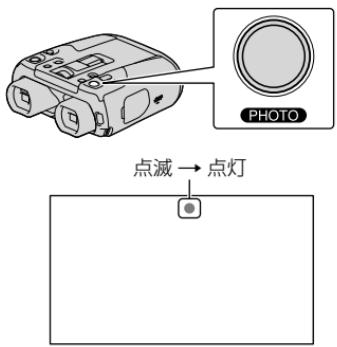
MODEボタン



(動画)：動画を撮影するとき
(静止画)：静止画を撮影するとき

本機で再生する

- 2 PHOTOボタンを軽く押してピントを合わせてから、そのまま深く押す。



④ ご注意

- [2D/3Dモード切換]が[3D]になっているときは静止画を撮影できません。あらかじめ [MENU](メニュー) → [画質・画像サイズ] → [2D/3Dモード切換]で[2D]を選んでください。
- 3D静止画は撮影できません。

⑤ ちょっと一言

- 静止画の撮影可能枚数は75ページをご覧ください。
- 画像サイズは、[MENU](メニュー) → [画質・画像サイズ] → [CAMERA 画像サイズ] → 好みの設定 → [OK] を選んで変更できます。
- 表示中は静止画撮影できません。

本機で記録した画像を再生できます。

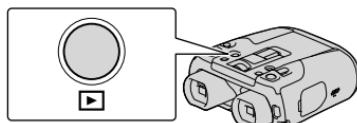
① ちょっと一言

- 3Dで撮影した画像を見たい場合は、[2D/3Dモード切換]を[3D]にしてください。

- 1 POWERボタンを押す。

本機の電源が入ります。

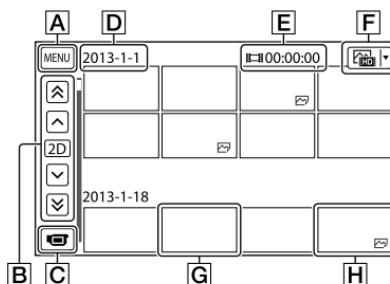
- 2 ▶(画像再生)ボタンを押す。



数秒後にイベントインデックスが表示されます。

- 3 マルチセレクターで見たい画像を選んで、中央を押して決定する。

画像の再生が始まります。



A メニュー画面へ

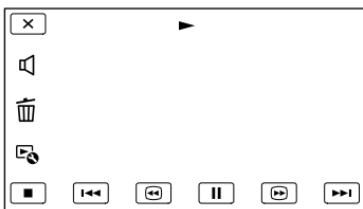
B ▲ 前の画像へ / ▼ 次の画像へ
△ 前のイベントへ / ▽ 次のイベントへ

C 撮影画面へ

D イベントタイトル

- E** イベント内の動画の合計時間/静止画の合計枚数
 - F** 表示画像切り替えボタン(2D時のみ)(動画、 静止画、 動画/静止画*)
 - G** 動画
 - H** 静止画
- * この表示から再生を始めると、動画と静止画が混在して再生されます。
- 本機は、撮影の頻度と日時情報から、画像をイベントという単位にまとめます。

再生画面の操作について



	動画の一時停止/再生
	再生停止
	前の画像/次の画像
	動画の巻戻し/早送り
	静止画スライドショーの再生
	再生音量
	画像の削除
	設定可能な機能

- 再生する画像によっては表示されないものもあります。

⚡ ご注意

- 本機で撮影した画像は他機では再生できない場合があります。

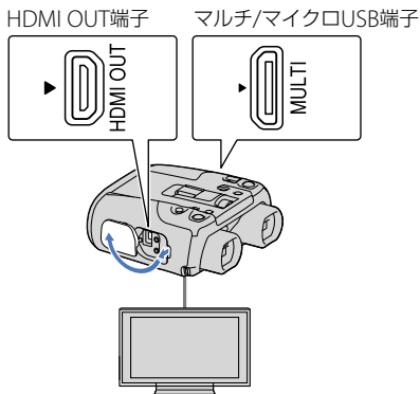
⌚ ちょっと一言

- 選んだ画像から最後の画像まで再生されると、インデックス画面に戻ります。
- 一時停止中に / を選ぶと、スロー再生が始まります。
- 再生中、 / を選ぶたびに、約5倍速→約10倍速→約30倍速→約60倍速で再生します。
- 撮影時に日付時刻と撮影条件を示したカメラデータが自動的に記録されます。これらのデータは撮影中は表示されませんが、[MENU](メニュー)→[セットアップ]→[再生設定]→[日付/データ表示]→好みの設定→[OK]を選ぶと再生時に表示できます。
- 静止画のスライドショーを見るには、表示画像切替で 静止画を選んでください。スライドショーの繰り返し再生を設定するときは、 →[スライドショー設定]を選んでください。

テレビにつないで 再生する

テレビの種類や接続する端子によって、接続方法やテレビに映る画像の種類(3D/2D)、画質(ハイビジョン/標準)が異なります。

本機の端子

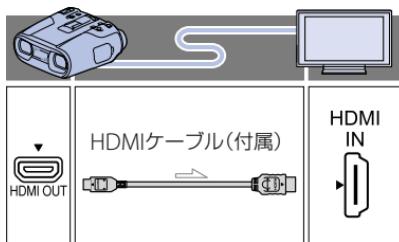


- 1 テレビの入力設定を切り換える。
 - 詳しくはテレビの取扱説明書をご覧ください。
- 2 本機をテレビにつなぐ。
 - 本機の電源は、ACアダプターを使ってコンセントからとってください(12ページ)。
- 3 本機で動画、静止画を再生する(22ページ)。

接続方法一覧

3D対応テレビのとき

3D撮影した動画が3Dで再生されます。[2D/3Dモード切換]が[3D]になっていることを確認してください。



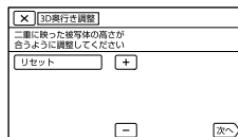
3D対応テレビとHDMIケーブル(付属)での接続時に3D動画の立体感を調整する(3D奥行き調整)

3D動画再生中、立体感を調整できます。本機のファインダーには操作ボタンのみが表示されます。テレビで画像を確認しながら調整してください。

- ① 3D動画再生中の画面で、[] → [3D奥行き調整]を選ぶ。

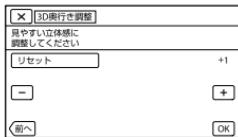
動画が停止し、調整に関する注意が表示されます。

[次へ]を選ぶと、上下方向を調整する画面が表示されます。
- ② [+] / [-] を選んで上下方向を調整し、[次へ] を選ぶ。

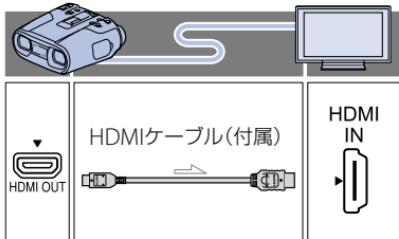


左右方向を調整する画面が表示されます。

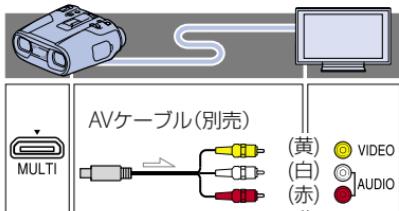
- ③ [+] / [-] を選んで、左右方向を調整し、[OK] を選ぶ。



ハイビジョンテレビのときは
ハイビジョン画質で再生されます。



ハイビジョン非対応テレビのときは
標準画質で再生されます。



HDMIケーブル接続のときは

- HDMIロゴの付いたもの、またはソニー製のケーブルを推奨します。
- 本機側はHDMIマイクロコネクタ、テレビ側はテレビの端子にあったプラグのHDMIケーブルをお使いください。
- 著作権保護のための信号が記録されている映像を、本機のHDMI OUT端子から出力できません。

- 一部の機器では、映像や音声が出ないなど正常に動作しない場合があります。
- 本機と接続機器の出力端子同士を接続しないでください。故障の原因となります。

ハイビジョン非対応のテレビ(ワイド/4:3)に合わせて画像の横縦比を変えるには

- お使いになるテレビの横縦比に合わせて、[TVタイプ]を[16:9]または[4:3]に設定してください(60ページ)。

モノラルテレビ(音声端子がひとつ)のときは

- AVケーブル(別売)の黄色いプラグを映像入力へ、白いプラグ(左音声)か赤いプラグ(右音声)のどちらかを音声入力へつないでください。

ビデオ経由でテレビにつなぐには

- ビデオの入力端子によって接続方法を選んでください。ビデオの外部入力端子につなぎ、ビデオに入力切り換えスイッチがある場合は「外部入力」(ビデオ1、ビデオ2など)に切り換えてください。

⚡ご注意

- AVケーブル(別売)を使って接続すると、出力される画質は標準画質になります。

⌚ちょっと一言

- 画像を出力するときに、複数のケーブルでテレビをつないでいるときは、HDMI出力が優先されます。
- HDMI(High Definition Multimedia Interface)とは、テレビ接続機器のデジタル映像/音声信号を直接つなぐインターフェースです。HDMI OUT端子とテレビを1本のケーブルで接続することで、高画質な映像とデジタル音声を楽しめます。

プラビアリンクを使う

本機とプラビアリンク対応のテレビ^{*}をHDMIケーブルでつなぐと、テレビのリモコンを使用して操作できます。

テレビのリモコンのリンクメニューボタンから本機の操作メニューを開き、上/下/左/右/決定ボタンで、イベントインデックスなどを表示してお好みの動画/静止画を再生できます。

*2008年以降に発売された、プラビアリンク対応のテレビで使用できます。

④ ご注意

- ・リモコンでは一部の操作が行えないことがあります。
- ・本機を設定するには、[MENU](メニュー)→[セットアップ]→[接続]→[HDMI機器制御]→[入](お買い上げ時の設定)→[OK]を選んでください。
- ・テレビ側の設定も必要です。詳しくは、テレビの取扱説明書をご覧ください。
- ・リンクメニューの操作はお使いのプラビアによって異なります。詳しくは、お使いのテレビの取扱説明書をご覧ください。

⌚ ちょっと一言

- ・テレビの電源を切ると、本機も連動して電源が切れます。

撮るときに便利な機能

動画モード(■)と静止画モード(●)で使用できるメニューが異なります。

カメラまかせでかんたん キレイに撮影する (おまかせオート)



[おまかせオート撮影]を[入](お買い上げ時の設定は[切])にすると、自動でシーンを認識して最適な設定で撮影できます。

1 動画、静止画の撮影画面で、 [] を選ぶ。



2 [入] → [OK] を選ぶ。

顔認識

人物(人物)、赤ちゃん(赤ちゃん)

シーン認識

逆光(逆光)、風景(風景)、夜景(夜景)、スポットライト(スポットライト)、低照度(低照度)、マクロ(マクロ)

手ブレ検出

歩き(歩き)、三脚(三脚)

音検出

自動風ノイズ低減(自動風ノイズ低減)

解除するには、撮影画面で [AUTO] → [切] を選びます。

ご注意

- 撮影状況によっては、認識や検出が希望どおりに働かない場合があります。

録画モードを選ぶ

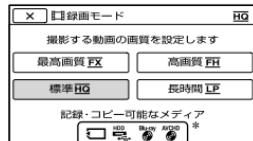


録画モードを選んで記録する画質を切り換えることができます。録画モードによってメモリーカードへの録画可能時間が変わります(お買い上げ時の設定は[標準 HQ])。

3D撮影時は録画モードを変更できません。

1 [MENU](メニュー) → [画質・画像サイズ] → [録画モード] を選ぶ。

2 お好みの設定を選ぶ。



[フレームレート] (56ページ)によって、選択できる録画モードが異なります。

* 保存できないメディアのアイコンに◎が表示されます。

3 [OK] を選ぶ。

録画モードと保存できるメディア

録画モードの設定によって、記録した動画を保存できるメディアが異なります。他機への保存方法については38ページをご覧ください。

保存できる メディア	録画モード				
	3D	PS*	FX	FH /HQ /LP	
外付け メディア	○	○	○	○	
ブルーレイ ディスク	○	○	○	○	
AVCHD記録 ディスク	-	-	-	○	

- * [■フレームレート] (56ページ)が60p (50p)のときに設定できます。

● ちょっと一言

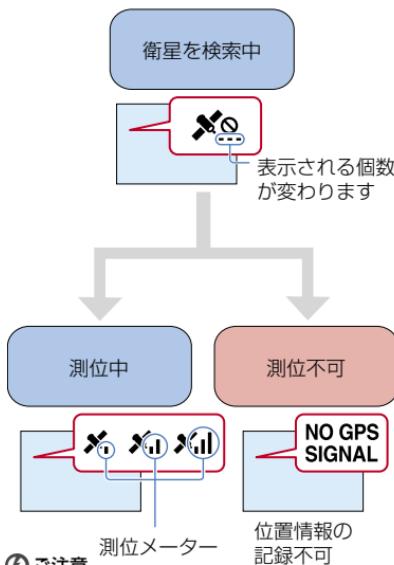
- 本機は[60i/50i 切換]の設定に応じて、以下のAVCHD規格の画素数で記録します。
[60i(NTSC)]のとき
 - 3D時 : 1920×1080/60i
 - PS : 1920×1080/60p
 - FX/FH : 1920×1080/60i
 - HQ/LP : 1440×1080/60i
[50i(PAL)]のとき
 - 3D時 : 1920×1080/50i
 - PS : 1920×1080/50p
 - FX/FH : 1920×1080/50i
 - HQ/LP : 1440×1080/50i
- 画質は次のとおりです。
 - [3D] (MVC HD 28M(3D))
 - [60p画質 PS] ([50p画質 PS]) (AVC HD 28M(PS))
 - [最高画質 FX] (AVC HD 24M(FX))
 - [高画質 FH] (AVC HD 17M(FH))
 - [標準 HQ] (AVC HD 9M(HQ))
 - [長時間 LP] (AVC HD 5M(LP))
- 24Mなどの「M」は「Mbps」のことです。

測位情報を記録する (GPS)(DEV-50V)



お買い上げ時の設定では、動画や静止画の撮影時に位置情報を記録します。

GPSの測位状況



● ご注意

- 測位中になるまで数分かかることがあります。
- 測位できないときは、次の操作を行うと改善される場合があります。
 - 電波が届きにくい場所(78ページ)から移動する。

● ちょっと一言

- 次のときは、最大で数百メートルの測位の誤差を生じる場合があります。
 - 周囲の建物などで反射したGPSの電波を受信したとき
 - 受信したGPSの電波が弱いとき
- 記録した位置情報を表示するには、[MENU](メニュー)→[セットアップ]→[再生設定]→[日付/データ表示]→[緯度経度データ]を設定してください。

優先的にGPS情報を受信するには

[GPS情報]を使用する(61ページ)。

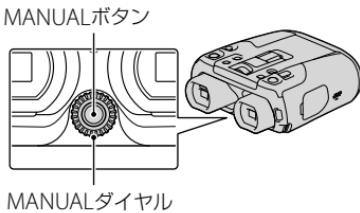
位置情報を記録しないときは

[MENU](メニュー)→[セットアップ]→[一般設定]→[GPS]→[切]を設定してください。

MANUALダイヤルで マニュアル調節する

よく使うメニュー項目をダイヤル操作に割り当てると便利です。

ここでは[3D奥行き調整]が割り当てられているときの説明をします。ここで行う[3D奥行き調整]は、撮影時に画面に表示される画像の立体感を調整する機能です。



1 MANUALボタンを押して、立体感を調整できるようにする。

押すたびに立体感の調整可能/不可が切り替わります。

2 MANUALダイヤルを回して、画面を確認しながら立体感を調整する。

操作できる項目

動画モード

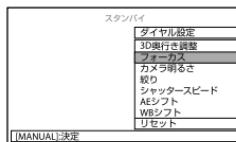
- ・[3D奥行き調整]
- ・[フォーカス] …50ページ
- ・[カメラ明るさ] …50ページ
- ・[AEシフト] …51ページ
- ・[WBシフト] …51ページ

静止画モード

- ・[フォーカス] …50ページ
- ・[カメラ明るさ] …50ページ
- ・[絞り] …51ページ
- ・[シャッタースピード] …51ページ
- ・[AEシフト] …51ページ
- ・[WBシフト] …51ページ

メニュー項目を割り当てるには

- ① MANUALボタンを数秒間押し続ける。
[ダイヤル設定]画面が表示されます。



- ② MANUALダイヤルを回して、割り当てる項目を選ぶ。

- ③ MANUALボタンを押す。

④ ご注意

- ・いったん設定内容を固定したあと、別の項目の設定を行っても、先に行った設定の内容はそのまま保持されます。ただし、[AEシフト]を手動設定したあとで[カメラ明るさ]を設定した場合、[AEシフト]の効果は無効になります。
- ・[カメラ明るさ]、[絞り]、[シャッタースピード]は、同時に選択することはできません。1つ選択すると、それ以外の2つの設定は解除されます。
- ・手順②で[リセット]を選択すると、手動設定した項目がすべてお買い上げ時の設定に戻ります。

本機で編集する

⌚ ちょっと一言

- ・[3D奥行き調整]以外のメニュー項目は、MANUALボタンを押すたびに自動/手動が切り替わります。
- ・[MENU](メニュー)→[カメラ・マイク]→[CAMERA設定]→[ダイヤル設定]でメニュー項目を割り当てることもできます。
- ・絞りをF3.4より開いた値(小さい絞り値)に設定しても、W側(広角)からT側(望遠)にズームするにつれて、絞り値はF3.4に変化します。
- ・絞りを変えることで、ピントの合う範囲が変わります。絞りを開ける(絞り値が小さい)ほどその範囲が狭くなり、絞りを絞る(絞り値が大きい)ほどその範囲が広くなります。撮影の意図によって絞りの効果を使い分けることができます(51ページ)。
- ・蛍光灯、ナトリウム灯、水銀灯などの照明下で撮影すると、画面に横筋が見えたり、画面がちらついたり(フリッカー現象)、色が変化したりすることがあります。このようなときは、電源周波数が50Hzの地域(関東地方など)ではシャッタースピードを1/100-60Hzの地域(関西地方など)では1/60に設定することをおすすめします(51ページ)。
- ・撮影時の設定によって表示されるカメラデータが異なります(59ページ)。次のアイコンで表示されます。
 - オート：オート時
 - マニュアル：画像明るさマニュアル設定時

画像を削除する

不要な動画・静止画を削除すると、削除了した分のメモリーカードの容量を元に戻すことができます。

⌚ ご注意

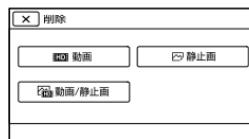
- ・いったん削除した画像は元に戻せません。大切な動画・静止画は、あらかじめ保存してください。
- ・削除中は、本機からバッテリーやACアダプターを取り外さないでください。メモリーカードが壊れるおそれがあります。
- ・画像の削除中はメモリーカードを抜かないでください。
- ・プロテクトされた動画・静止画は削除できません。削除するにはプロテクトを解除してください(31ページ)。

⌚ ちょっと一言

- ・再生画面の[削除]からも行えます。
- ・メモリーカードに保存されているすべての画像を削除して記録容量を元に戻す場合は、フォーマットしてください(58ページ)。
- ・インデックス画面のように多数の画像を一覧表示するために縮小された画像のことを「サムネイル」といいます。

1 マルチセレクターで [MENU](メニュー)→[編集・コピー]→[削除]を選ぶ。

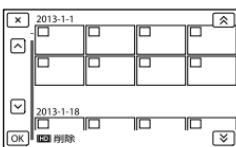
2 画像を選択して削除するときは、[画像選択]→[動画]/[静止画]/[動画/静止画]*を選ぶ。



* 3Dモードのときは、動画のみ削除できます。

3 削除したい動画・静止画を選んで、[OK] を選ぶ。

画像に✓マークがつきます。

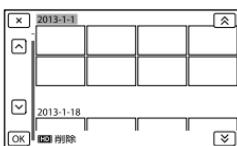


- ・サムネイル上でPHOTOを押すとプレビューできます。[X] で選択画面に戻ります。

4 [OK] → [OK] を選ぶ。

動画・静止画をイベントごとにまとめて削除するには

① 手順2で[イベント内全て]を選ぶ。



② [▲]/[▼] で、削除したいイベントを選んで、[OK] を選ぶ。

③ [OK] → [OK] を選ぶ。

記録した画像を保護する (プロジェクト)

動画・静止画を誤って削除してしまうことを防ぐことができます。

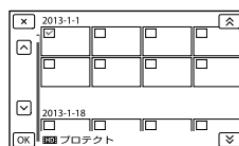
1 マルチセレクターで [MENU] (メニュー) → [編集・コピー] → [プロジェクト] を選ぶ。

2 画像を選択してプロジェクトするときは、[画像選択] → [動画] / [静止画] / [動画/静止画] * を選ぶ。

* 3Dモードのときは、動画のみプロジェクトできます。

3 プロテクトする動画・静止画を選んで、[OK] を選ぶ。

画像に✓マークがつきます。



- ・サムネイル上でPHOTOを押すと、プレビューできます。[X] で選択画面に戻ります。

4 [OK] → [OK] を選ぶ。

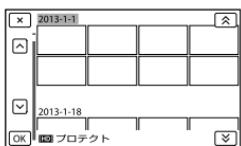
プロジェクトを解除するには

手順3で✓マークがついている動画・静止画を選ぶ。

✓マークが消えます。

撮影したイベントごとにまとめてプロジェクトするには

- ① 手順2で[イベント内全て設定]を選ぶ。



- ② **[↑]/[↓]** で、プロジェクトしたいイベントを選んで、**[OK]** を選ぶ。

- ③ **[OK] → [OK]** を選ぶ。

撮影したイベントごとにプロジェクトを解除するには

手順2で[イベント内全て解除]を選んで、プロジェクトを解除したいイベントを選び、**[OK] → [OK] → [OK]** を選ぶ。

動画を分割する

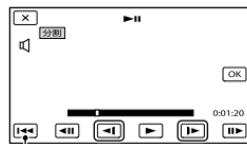
撮影した動画を分割することができます。不要な部分を削除するときなどに使います。

- 1 マルチセレクターで、動画の再生中に表示されている **[再生]** → [分割] を選ぶ。

- 2 **[▶]** を選んで動画を再生する。

- 3 分割したいところで **[II]** を選ぶ。
再生が一時停止します。

- 4 **[◀]/[▶]** で分割位置を微調整する。



選んだ動画の先頭に戻る

- 5 **[OK] → [OK] を選ぶ。**

④ ご注意

- ・いったん分割した動画は元に戻せません。
- ・プロジェクトされた動画は分割できません。分割するにはプロジェクトを解除してください(31ページ)。
- ・分割中は、本機からバッテリーやACアダプターを取り外さないでください。メモリーカードが壊れるおそれがあります。
- ・動画の分割中はメモリーカードを抜かないでください。
- ・本機では約0.5秒ごとに分割点を検出するため、**[II]** で決定した分割点と実際の分割点とでは若干のずれが生じことがあります。
- ・本機では、簡易的な編集ができます。さらに編集する場合には、ソフトウェア「PlayMemories Home」をインストールしてお使いください。

動画から静止画を切り出す

撮影した動画から静止画を切り出すことができます。

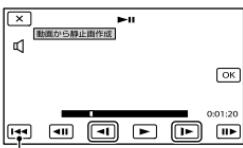
- 1 マルチセレクターで、動画の再生中に表示されている **[再生]** → [動画から静止画作成] を選ぶ。

- 2 **[▶]** を選んで動画を再生する。

3 静止画にしたいところで [II] を選ぶ。

再生が一時停止します。

4 [◀]/[▶] で静止画にしたい場面を微調整する。



選んだ動画の先頭に戻る

5 [OK] を選ぶ。

本機で記録した動画から作成される画像サイズは [2.1M] (16:9)になります。

撮影日時について

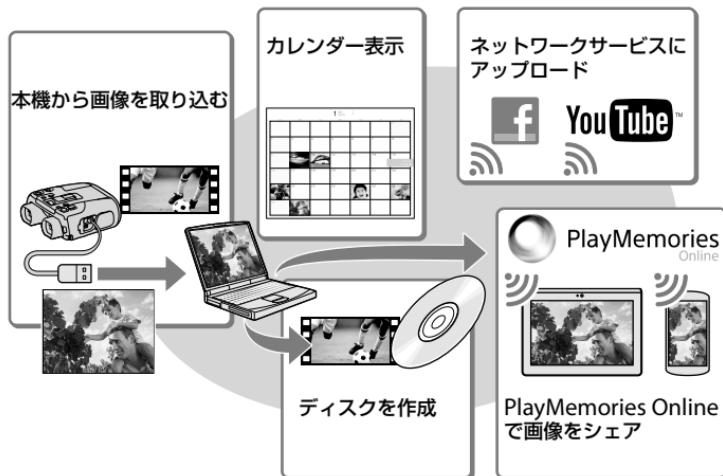
- 作成された静止画の撮影日時は、元の動画の撮影日時と同じ日付になります。
- 日付時刻データがない動画から静止画を作成した場合、静止画の撮影日時は作成日時と同じ日付になります。

パソコンを使って保存する

パソコンで見る

ソフトウェア「PlayMemories Home」を使うと、撮影した動画や静止画をパソコンに取り込んで画像の活用ができます。

ソフトウェア「PlayMemories Home」でできること(Windows)



「PlayMemories Home」は、以下のURLよりダウンロードできます。

www.sony.net/pm

④ ご注意

- ・「PlayMemories Home」のインストールにはインターネット接続が必要です。
- ・「PlayMemories Online」、各ネットワークサービスはインターネット接続が必要です。

Mac用アプリケーション

「PlayMemories Home」はMacに対応していません。Mac用アプリケーションをご利用ください。詳しくは以下のURLをご覧ください。

<http://www.sony.co.jp/imsoft/Mac>

パソコンの準備をする(Windows)

パソコン環境を確かめる

OS^{*1}

Microsoft Windows XP SP3^{*2}/Windows Vista SP2/Windows 7 SP1/Windows 8

CPU^{*3}

Intel Core Duo 1.66GHz以上、Intel Core 2 Duo 1.66GHz以上(3DおよびFX/FHモードの動画を扱うときは、Intel Core 2 Duo 2.26GHz以上、PSモードの動画を扱うときは、Intel Core 2 Duo 2.40GHz以上)

メモリー

Windows XP

512 MB以上(1 GB以上を推奨します。)

Windows Vista/Windows 7/Windows 8

1 GB以上

ハードディスク

インストールに必要なディスク容量：

約500 MB

ディスプレイ

解像度1,024 × 768 ドット以上

*1 工場出荷時にインストールされていることが必要です。アップグレードした場合やマルチブート環境の場合は、動作保証いたしません。

*2 64bit版を除きます。ディスク作成機能などを使用するには、Windows Image Mastering API(IMAPI) Ver.2.0以上が必要です。

*3 より高速なCPUを推奨します。

④ ご注意

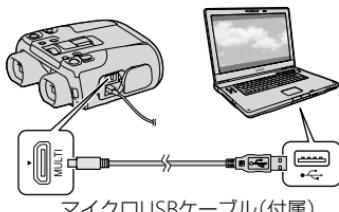
- すべてのパソコン環境についての動作を保証するものではありません。

パソコンに「PlayMemories Home」をインストールする

1 パソコンのインターネットブラウザで以下のダウンロードサイトにアクセスして、[インストール]→[実行]をクリックする。
www.sony.net/pm

2 画面の指示に従ってインストールを進める。

- 本機をパソコンに接続する指示が表示されたら、本機とパソコンをマイクロUSBケーブル(付属)で接続する。



マイクロUSBケーブル(付属)

- インストール完了後、「PlayMemories Home」が起動します。

インストール時のご注意

- あらかじめパソコンに「PlayMemories Home」がインストールされている場合は、本機をパソコンに接続してください。本機で使える「PlayMemories Home」の機能が有効になります。
- PMB(Picture Motion Browser)がインストールされている場合、「PlayMemories Home」が上書きインストールされます。「PMB」の機能で一部ご使用できなくなる機能があります。

本機とパソコンの接続を終了するには

- ① パソコンのデスクトップ右下で、 →[USB大容量記憶装置を安全に取り外します]をクリックする。



- ② 本機の画面で  →[はい]を選択。
③マイクロUSBケーブルを取り外す。
• Windows 7、Windows 8のときは  をクリックしてから、 をクリックしてください。

④ ご注意

- パソコンからのアクセスは「PlayMemories Home」を使用してください。「PlayMemories Home」以外のソフトウェアを使用してデータの読み書きを行ったり、パソコンから直接ファイルやフォルダを操作した結果に対して、当社は責任を負いかねます。
- [ 録画モード]で選ばれている設定によっては、保存できないディスクがあります。[最高画質 ]/[60p画質 ]/([50p画質 ])にして撮影した動画はブルーレイディスクにのみ保存できます。
- 本機では2GBを超えるファイルを自動的に分割して記録します。パソコンで見るとファイルが分割されて見える場合がありますが、本機や「PlayMemories Home」の再生機能、取り込み機能では正しく取り扱われます。

ブルーレイディスクを作るには

パソコンに取り込んだハイビジョン画質(HD)の動画から、ブルーレイディスクを作成できます。

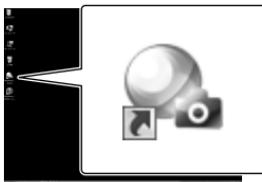
作成するにはBDアドオンソフトウェアをインストールする必要があります。以下よりインストールが可能です。

<http://support.d-imaging.sony.co.jp/BDUJ/>

- お使いのパソコンがブルーレイディスク作成に対応している必要があります。
- ディスクは、BD-R(書き換え不可)、BD-RE(書き換え可)が使えます。追加記録はできません。
- 3Dや[60p画質 ]/([50p画質 ])で撮影した動画から作成したブルーレイディスクを再生するには、AVCHD規格 Ver.2.0規格に対応した機器が必要です。

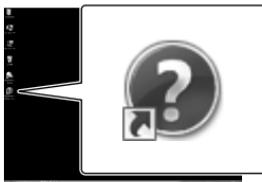
「PlayMemories Home」を起動する

1 デスクトップの「PlayMemories Home」をダブルクリックする。



- Windows 8使用時はスタート画面から「PlayMemories Home」アイコンを選択してください。

2 「PlayMemories Home」の使いかたを見るには、デスクトップの「PlayMemories Home ヘルプガイド」のショートカットをダブルクリックする。



- Windows 8使用時は「PlayMemories Home」のヘルプメニューから「PlayMemories Home ヘルプガイド」を選択してください。
- デスクトップにショートカットが表示されていないときは、[スタート] → [すべてのプログラム] → [PlayMemories Home] → お好みの項目の順にクリックしてください。
- 「PlayMemories Home」について詳しくは②(PlayMemories Home ヘルプガイド)、またはPlayMemories Homeサポートページ(<http://www.sony.co.jp/pmh-sj/>)をご覧ください。

専用のソフトウェアをダウンロードする

以下のURLから本機用のソフトウェアをダウンロードできます。

Windows版:

<http://www.sony.co.jp/imsoft/Win/>

Mac版:

<http://www.sony.co.jp/imsoft/Mac/>

- 本機をパソコンにつないで、[PMHOME]内の[FOR_WIN.URL] (Windows用)、[FOR_MAC.URL] (Mac用)をダブルクリックしても上記のURLにつながります。[USB LUN 設定]は[マルチ]にしてつないでください。

主なソフトウェア

PlayMemories Onlineアップローダー (Mac用)

Macに保存した画像をお手軽にPlayMemories Onlineにアップロードします。

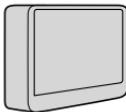
④ご注意

- お使いの機種や、国/地域によって使用できるソフトウェアが異なります。

他機を使って保存する

他機を使った保存のしかたを選ぶ

撮影した動画を他機に保存する方法を説明します。機器に合わせて保存のしかたを選びましょう。

画像	他機	使うケーブル	ページ	
	外付けメディア ハイビジョン画質で保存。	USBアダプター ケーブル VMC-UAM2(別売)	40	
3D/2D		ソニー製ブルーレイ ディスクレコーダー ハイビジョン画質でブルー レイディスクレコーダーや、 ディスクに保存。	マイクロUSB ケーブル(付属)	42
2D		HDDレコーダーなど 標準画質でDVDに保存。	AVケーブル (別売)	43

④ ご注意

- ハイビジョン画質で記録したDVDは、AVCHD規格に対応した機器で再生してください。
- DVDプレーヤーやDVDレコーダーはAVCHD規格に非対応のため、ハイビジョン画質を記録したDVDを入れないでください。ディスクの取り出しができなくなることがあります。

保存できるメディアについて

28ページをご覧ください。

ディスクを再生できる機器は

ブルーレイディスク

ソニー製ブルーレイディスクプレーヤーや、プレイステーション3などのブルーレイディスク再生機器で、再生できます。

ハイビジョン画質を保存したDVD

ソニー製のブルーレイディスクプレーヤーや、プレイステーション3などのAVCHD規格対応の再生機器で、再生できます。

標準画質を保存したDVD

DVDプレーヤーなどの一般的なDVD再生機器で、再生できます。

④ ご注意

- ・「プレイステーション3」のシステムソフトウェアは常に最新版にアップデートしてお使いください。アップデートの詳細は、株式会社ソニー・コンピューターエンタテイメントのウェブサイトをご覧ください。

<http://www.jp.playstation.com/ps3/update/>

外付けメディアを使って保存する

外付けハードディスクなどのメディアに、本機の動画・静止画を保存できます。また、保存した画像を本機などで再生して楽しめます。

④ ご注意

- この操作にはUSBアダプターケーブルVMC-UAM2(別売)が必要です。
- 本機の電源は、ACアダプターを使ってコンセントから取ってください(12ページ)。
- お使いの外付けメディアの取扱説明書もあわせてご覧ください。

⑤ ちょっと一言

- 3Dで撮影した動画を外付けメディアに保存した場合は、3Dのままお楽しみいただけます。
- 外付けメディアに保存した画像は、ソフトウェア「PlayMemories Home」で取り込むこともできます。

外付けメディアに保存後にできること

- 本機を経由した画像の再生(42ページ)
- 「PlayMemories Home」への取り込み(37ページ)

使用できない外付けメディアについて

次の機器は外付けメディアとして使えません。

- 容量が2TBを超える外付けメディア
- 一般的なDVDドライブやCDドライブなどのディスクドライブ
- ハブを経由してつないでいる外付けメディア
- 内部にハブを構成している外付けメディア
- カードリーダー

⑥ ご注意

- 暗号機能のある外付けメディアは、使えない場合があります。
- ファイルシステムとしてFATを採用しています。NTFSなど他機でフォーマットされた外付けメディアの場合は、本機でフォーマットしてからお使いください。フォーマット画面は接続時に表示されます。また、FATのメディアでもフォーマット画面が表示されることが

あります。接続する機器に大切なデータが残っていないことを確認したうえでフォーマットを行ってください。

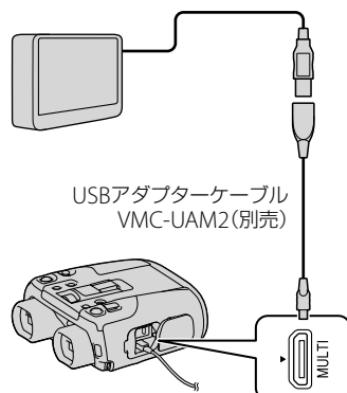
- 動作条件に該当するすべての機器の動作を保証するものではありません。

1 ACアダプターを本機のDC IN端子とコンセントにつなぐ(12ページ)。

2 外付けメディアにAC電源がある場合は、コンセントにつなぐ。

3 USBアダプターケーブル(別売)で本機と外付けメディアをつなぐ。

[管理ファイル準備中]が表示されている間はUSBケーブルを抜かないでください。また、本機に[管理ファイル修復]画面が表示されたら、OKを選んでください。



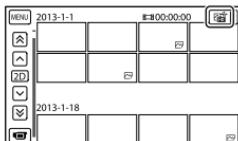
4 本機の画面で[コピーする]を選ぶ。

外付けメディアに保存されていない画像が保存されます。

- ・本機に新たに記録した画像がない場合、できません。

外付けメディアと接続中は

外付けメディアに保存した画像が、本機の画面に表示されます。外付けメディアに記録した画像ではインデックスなどの画面でUSBアイコンが表示されます。



画像の削除など、外付けメディアに関する設定ができます。インデックス画面で [MENU](メニュー) → [編集・コピー] を選んでください。

接続を終了するには

- ① 外付けメディアのインデックスで を選ぶ。
- ② USBアダプターケーブルを取り外す。

⚡ご注意

- ・外付けメディアに保存可能なシーン数は次のとおりです。外付けメディアに空き容量があっても、これを超えて保存することはできません。
 - 動画：2D/3D合わせて最大3,999個
 - 静止画：最大40,000枚
- 本機の設定や撮影された画像によっては、保存可能なシーン数が減ることがあります。

好みの動画・静止画を保存する

保存したい画像を選んで保存できます。

1 外付けメディアと接続して、[コピーしないで再生する]を選ぶ。

外付けメディアのインデックス画面が表示されます。

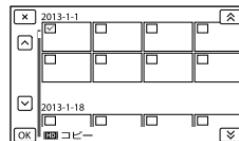
2 [MENU](メニュー) → [編集・コピー] → [コピー] を選ぶ。

3 本機の画面にしたがって、画像の選択方法や画像の種別を選ぶ。

- ・外付けメディアから本機へコピーすることはできません。

4 [画像選択]を選んだときは、保存したい画像を選んで、[OK] を選ぶ。

✓が表示されます。



- ・サムネイル上でPHOTOを押すと、プレビューできます。[X]で選択画面に戻ります。
- ・[イベント内全て]を選んだときは、[▲]/[▼]でコピーするイベントを選んでください。複数のイベントは選べません。

5 本機で [OK] → [OK] を選ぶ。

ソニー製ブルーレイディスクレコーダーを使って保存する

外付けメディアの画像を本機で見る

1 外付けメディアと接続して、[コピーしないで再生する]を選ぶ。

外付けメディアの画像がインデックス画面で表示されます。

2 見たい画像を選んで再生する(22ページ)。

- ・本機をテレビにつないで画像を楽しむこともできます(24ページ)。
- ・ハイビジョン画質の動画は、「PlayMemories Home」を使ってパソコンで再生できます。「PlayMemories Home」を起動し、「設定」で外付けメディアの接続されているドライブを選んでください。

手動でかんたんコピーする

本機と外付けメディアの接続中に手動でかんたんコピーができます。

- ① 外付けメディアのインデックス画面で [MENU](メニュー) → [編集・コピー] → [ダイレクトコピー] を選ぶ。
- ② [コピーしていない画像をコピーします] を選ぶ。
- ③ [OK] → [OK] を選ぶ。

④ ご注意

- ・本機が外付けメディアを認識しないときは、次の操作を行ってください。
 - USBアダプターケーブルを差し直す。
 - 外付けメディアにAC電源がある場合は、コンセントにつなぐ。

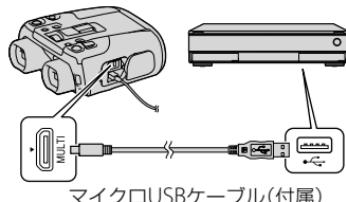
ソニー製ブルーレイディスクレコーダーのハードディスクにダビングしたり、ディスクを作成したりできます。

⑤ ご注意

- ・お使いのブルーレイディスクレコーダーの種類によっては、USB端子が無い場合があります。その場合は、AVケーブル(別売)で接続してください(43ページ)。
- ・[60p画質 PS]([50p画質 PS])や、3Dで撮影した動画を保存するには、AVCHD規格Ver.2.0に対応した機器が必要です。また、作成したブルーレイディスクは、AVCHD規格Ver.2.0に対応した機器でのみ再生できます。

1 ACアダプターを本機のDC IN端子とコンセントにつなぐ(12ページ)。

2 本機の電源を入れ、マイクロUSBケーブル(付属)で本機とブルーレイディスクレコーダーをつなぐ。



3 ブルーレイディスクレコーダーの「カメラ読み込み」ボタンあるいは「ワンタッチダビング」ボタンを押す。

レコーダーなどで標準画質のディスクを作る



カメラ取り込みがされていない画像が取り込まれます。

- ・終了するには、本機の画面で **[X] → [はい]** を選びます。

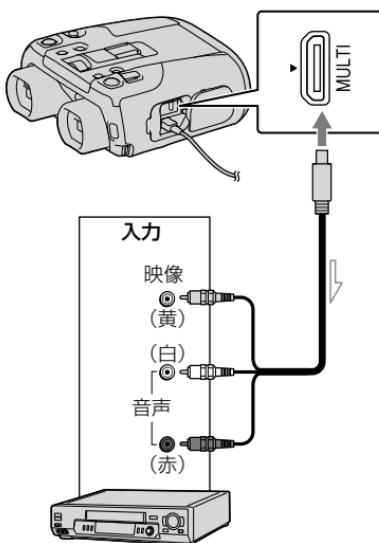
④ ご注意

- ・ブルーレイディスクレコーダーとの接続については、ホームページのサポート情報をご覧ください(89ページ)。
- ・ディスクに保存する方法については、ブルーレイディスクレコーダーの取扱説明書をご覧ください。
- ・ブルーレイディスクレコーダーによってボタンの有無、操作方法や使えるディスクが異なります。ブルーレイディスクレコーダーの取扱説明書をご覧ください。
- ・この操作では、ハイビジョン画質の動画のみ取り込みます。
- ・[60p画質 **PS**]([50p画質 **PS**])で撮影した動画はブルーレイディスクレコーダーのハードディスクに保存してからディスクを作成してください。詳しくはブルーレイディスクレコーダーの取扱説明書をご覧ください。

本機をディスクレコーダーなどにAVケーブル(別売)で接続すると、本機の画像を他のディスクやビデオカセットへコピーできます。つなぐ機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。

⑤ ご注意

- ・3D動画は2Dの標準画質に変換されます。
- ・本機の電源は、ACアダプターを使ってコンセントから取ってください(12ページ)。
- ・ハイビジョン画質で記録された画像は、標準画質でコピーされます。



信号の流れ

1

録画側のディスクレコーダーなどに記録用ディスクなどをセットする。

- ・入力切り替えスイッチがある場合は、「入力」にしてください。

2 本機と録画側のディスクレコーダーなどを、AVケーブル(別売)でつなぐ。

- 接続先機器の入力端子につないでください。

3 本機で再生を始め、接続先機器で録画を始める。

- 詳しくは、接続先機器の取扱説明書をご覧ください。

4 ダビングが終わったら、接続先機器の録画を停止し、本機の再生を停止する。

④ ご注意

- アナログデータを経由してダビングするため、画質が劣化する場合があります。
- HDMIケーブルを使ってダビングできません。
- 日時やカメラデータ、緯度経度データ(DEV-50V)をダビングしたいときは、[MENU](メニュー) → [セットアップ] → [再生設定] → [日付/データ表示] → お好みの設定 → [OK] を選んでください。
- テレビなどの表示機器の画面サイズが4:3の場合は、[MENU](メニュー) → [セットアップ] → [接続] → [TVタイプ] → [4:3] → [OK] を選んでください。
- 他機がモノラル(ひとつの音声入力・出力)の場合は、AVケーブル(別売)の黄色いプラグを映像入力へ、白いプラグ(左音声)または赤いプラグ(右音声)を音声入力へつなぎます。

本機の設定を変える

メニューを設定する

本機のメニューは大きく6つのカテゴリーに分類されており、その下にさまざまなメニュー項目があります。

□ 撮影モード

■ カメラ・マイク

□ 画質・画像サイズ

□ 再生機能

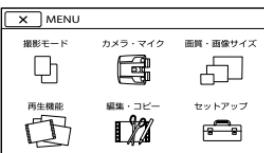
□ 編集・コピー

■ セットアップ

1 MENU(メニュー)を選ぶ。



2 カテゴリーを選ぶ。



3 設定したいメニュー項目を選ぶ。

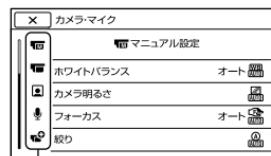


④ ご注意

- メニューを終了する、または前のメニューに戻るには [X] を選びます。

すばやくメニューを選ぶには

[カメラ・マイク] [セットアップ] のメニューにはサブカテゴリーがあります。サブカテゴリーアイコンを選ぶとお好みのメニューをすばやく選ぶことができます。



サブカテゴリーアイコン

メニューが設定できないときは

お使いの状況によって設定できないメニューがあります。灰色で表示されているメニューを選ぶと、設定できない理由が表示されます。



メニュー一覧

動画モード()と静止画モード()で使用できるメニューが異なります。

撮影モード

動画	動画を撮影する。	20
静止画	静止画を撮影する。	21

カメラ・マイク

マニュアル設定

ホワイトバランス	撮影する場面に合わせて色合いを調節する。	49
カメラ明るさ	画像の明るさを手動で設定する。	50
フォーカス	ピントを手動で設定する。	50
絞り	絞りを設定する。	51
シャッタースピード	シャッタースピードを設定する。	51
AEシフト	自動露出調整の明るさを調整する。	51
WBシフト	ホワイトバランスを手動で設定する。	51
Low Lux	薄暗い場所で明るくカラーで撮影する。	51
ハイバーゲイン	ゲインを上げて暗い場所でも明るく撮影する。	52

カメラ設定

自動3Dレンズ調整	立体感のある3D動画を撮影するためにレンズを調整する。	52
シーンセレクション	夜景や海岸など場面に合った設定を選択する。	52
セルフタイマー	セルフタイマーを使う。	53
テレマクロ	背景をぼかして、被写体をより際立たせる。	53
手ブレ補正(動画)	動画撮影時の手ブレ補正を設定する。	53
手ブレ補正(静止画)	静止画撮影時の手ブレ補正を設定する。	54
デジタルズーム	デジタルズームを設定する。	54
自動逆光補正	自動で逆光補正をする。	54
ダイヤル設定	MANUAL(マニュアル)ダイヤルに機能を割り当てる。	29

顔

顔検出	人物の顔を検出する。	54
-----	------------	----

マイク

くっきり音声	人物の顔を検出して声をよりクリアに記録します。	54
自動風ノイズ低減	雑音レベルに応じて低域の風雑音を低減します。	55
マイク基準レベル	録音レベルを設定する。	55

	撮影補助	
	マイボタン登録	撮影時によく使う項目をマイボタンに登録する。 55
	グリッドライン	水平/垂直の目安になる枠を表示する。 55
	画面表示設定	ファインダーに画面表示が表示される時間を設定する。 56
<hr/>		
	画質・画像サイズ	
	録画モード	録画モードを設定する。 27
	フレームレート	フレームレートを設定する。 56
2D/3Dモード切換	2D記録と3D記録を切り換える。 57	
	x.v.Color	x.v.Colorに対応したテレビで見るときに設定する。 57
	画像サイズ	静止画の画像サイズを設定する。 57
<hr/>		
	再生機能	
	動画や静止画を再生します。	22
<hr/>		
	編集・コピー	
削除	画像を削除する。	30
プロテクト	誤消去防止のため、画像をプロテクトする。	31
コピー	外付けメディアに画像を選んでコピーする。 41	
ダイレクトコピー	外付けメディアに保存していないすべての画像をコピーする。 42	
<hr/>		
	セットアップ	
	メディア設定	
メディア情報	メモリーカードの情報を表示する。 58	
フォーマット	メモリーカードをフォーマットする。 58	
管理ファイル修復	管理ファイルを修復する。 69, 72	
ファイル番号	静止画のファイル番号のつけかたを選ぶ。 59	
<hr/>		
	再生設定	
日付/データ表示	撮影時に自動的に記録された情報を表示する。 59	
音量	再生時の音量、撮影時のヘッドホン音量を調節する。 23, 60	
<hr/>		
	接続	
TVタイプ	テレビの横縦比に合わせて設定を変える。 60	
HDMI 3D方式切換	HDMIケーブルで本機と3D対応テレビを接続するときの出力フォーマットを選ぶ。 60	

HDMI解像度	HDMI端子からテレビに出力する信号の種類を選ぶ。	60
HDMI機器制御	HDMIケーブルで接続した機器から本機を操作できるようにする。	61
USB接続	USBケーブルで接続する。	61
USB LUN設定	USB接続の機能を制限して互換性を高める。	61
一般設定		
ファインダー明るさ	ファインダーの明るさを調節する。	61
ファインダー調整	ファインダーに表示される画面の上下相対位置を調整します。	61
GPS情報*	GPSの測位情報を表示する。	61
GPS*	GPS信号を受信するかどうか設定する。	62
録画ランプ	本体後面の録画ランプを消す。	62
操作音	操作音を出す。	62
言語設定	画面表示の言語を選ぶ。	62
60i/50i切換	1080/60i(NTSC方式)と1080/50i(PAL方式)を切り換える。	62
バッテリーインフォ	バッテリー残量の目安を表示する。	63
パワーセーブ	自動電源オフの設定をする。	63
設定リセット	設定をお買い上げ時の状態に戻す。	63
④ 時計設定		
日時設定	日時を設定する。	63
エリア設定	時差を設定する。	63
自動時刻補正*	GPS情報を取得して自動的に日時を合わせる。	64
自動エリア補正*	GPS情報を取得して自動的に時差を補正する。	64

* DEV-50V

■撮影モード (撮影の種類に関する設定)

メニューの操作方法は45ページをご覧ください。

動画

動画を撮影するモードにします。

静止画

静止画を撮影するモードにします。

■カメラ・マイク (好みの撮影をするときの設定)

メニューの操作方法は45ページをご覧ください。

▶はお買い上げ時の設定です。

ホワイトバランス



撮影する場面に合わせて色合いを調節できます。



▶WB (オート)

自動調節される。

※(屋外)

次の撮影環境に合った色合いになる。

- 屋外
- 夜景やネオン、花火など
- 日の出、日没など
- 昼光色蛍光灯の下

※(屋内)

次の撮影環境に合った色合いになる。

- 屋内
- ステージ上など照明状況が変化する場所
- ビデオライトの下、ナトリウムランプや電球色蛍光灯の下

■(ワンッシュ)

光源に合わせてホワイトバランスを固定する。

- ① ■ を選ぶ。
- ②被写体を照らす照明条件と同じところに白い紙などを置き、画面いっぱいに映す。
- ③ SET を選ぶ。

⚡ご注意

- 白色や昼白色の蛍光灯下では、[オート]に設定するか[ワンッシュ]の手順で色合いを調節してください。

- ・[ワンブッシュ]設定時は、白いものを映し続けてください。
- ・[ホワイトバランス]を設定すると[シーンセレクション]が[オート]になります。

⌚ ちょっと一言

- ・[オート]でバッテリーを交換したときや屋外を移動したときは、10秒ほど白っぽい被写体を映すと、より良い色合いになります。
- ・[ワンブッシュ]設定中に、屋外と屋内を行き来したりしたなど照明条件が変わったときは、再び[ワンブッシュ]の手順を行ってください。

カメラ明るさ



画像の明るさを手動で固定できます。背景に比べて被写体が明るすぎたり、暗すぎたりするときなどに調節します。



▶ オート

自動で調節される。

マニュアル

手動で調節する。

[マニュアル]のときは、[−]/[+]を選び、明るさを調節します。

⌚ ちょっと一言

- ・MANUALダイヤルでも手動で調節することができます(29ページ)。

フォーカス



手動でピントを合わせられます。ピントを合わせる被写体を意図的に変えるときにも使えます。



▶ オート

自動で調節される。

マニュアル

手動で調節する。

[マニュアル]のときは、[■−](近くにピント合わせ)/[■+](遠くにピント合わせ)を選び、ピントを調節します。

⚡ ご注意

- ・マニュアルに設定すると、[■]が表示されます。

⌚ ちょっと一言

- ・それ以上近くにピントを合わせられないときは■が、それ以上遠くにピントを合わせられないときは▲が表示されます。
- ・ピントは、はじめにズームをT側(望遠)にしてピントを合わせてから、W側(広角)に戻していくと合わせやすくなります。接写時は、逆にズームをW側(広角)いっぱいにしてピントを合わせます。
- ・次のとき、フォーカス距離情報(ピントが合う距離。暗くてフォーカスが合わせにくいときに目安として使用します)を数秒間表示します。
 - ピントを合わせる設定を自動から手動に切り換えたとき
 - フォーカスを手動調節したとき
- ・MANUALダイヤルでも手動で調節することができます(29ページ)。

絞り



絞り優先で撮影します。絞りを調節することで、背景をぼかして被写体をより引き立てたり、逆に背景にもピントがあつた撮影ができます。

▶ オート

自動で調節される。

マニュアル

手動で調節する。

💡 ちょっと一言

- MANUALダイヤルでも手動で調節することができます(29ページ)。

シャッタースピード



シャッタースピード優先で撮影します。シャッタースピードを速くすると、動きの速い被写体などを撮影するときなどに一瞬を切り出すことができ、遅くすると、水の流れなどを動きのある表現でとらえることができます。

▶ オート

自動で調節される。

マニュアル

手動で調節する。

💡 ちょっと一言

- MANUALダイヤルでも手動で調節することができます(29ページ)。

AEシフト



自動露出調整の明るさを調節できます。

▶ 切

自動で調節される。

入(設定した数値とEV)

手動で調節する。

明るくするには 、暗くするには を選び、調節する。

💡 ちょっと一言

- [カメラ明るさ]が[オート]のときに使うと、明るさを明るめ/暗めに設定できます。
- MANUALダイヤルでも手動で調節することができます(29ページ)。

WBシフト(ホワイト

バランスシフト)



ホワイトバランスをお好みに合わせて調節できます。

▶ 切

自動で調節される。

入(WBと設定した数値)

手動で調節する。

💡 ちょっと一言

- 画像が青みがかっているときは 、赤みがかっているときは を選んで調節する。
- MANUALダイヤルでも手動で調節することができます(29ページ)。

Low Lux



薄暗いところで明るくカラーで撮影できます。

▶ 切

Low Lux機能を使わない。

入(L)

Low Lux機能を使う。

ハイパーゲイン



ゲインを上げ、暗い場所でも明るく撮影できます。

▶ 切

ハイパーゲイン機能を使わない。

入(HYPER)

ハイパーゲイン機能を使う。

④ ご注意

- ・ハイパーゲイン使用時はノイズにより画質が劣化します。また、画像の色が薄くなります。
- ・本機の電源の入/切で、自動的に[切](お買い上げ時の設定)に戻ります。
- ・ハイパーゲインを[入]にして記録した場合、再生時にデータコードを表示するとゲインの値は[---]になります。

自動3Dレンズ調整



快適な3D動画をファインダーに表示する、または3D動画を撮影するために、撮影時の画像の上下位置を調整します。
インジケーターの目盛りが◀を超える被写体を画面に表示して [OK] を選んでください(15ページ)。

④ ご注意

- ・[自動3Dレンズ調整]は以下の場合に行ってください。
 - 3D動画に違和感や不快感を感じる場合
 - しばらく[自動3Dレンズ調整]を行っていない場合
 - 本機に強い衝撃が加わった場合
 - 炎天下や寒冷地など気温変化が大きい場所で使用する場合
- ・[自動3Dレンズ調整]を行ったあとは、FINDER 2D/3D(ファインダー表示切り替え)は3Dになります。

⑤ ちょっと一言

- ・ズームアウトしている途中で調整に失敗した場合は、[もう一度実行]を選んでください。

シーンセレクション



シーンを選んで撮影します。

▶ (オート)

画質を自動で調整する。

☾(夜景)*

三脚(別売)を使用して、夜景をきれいに撮影する。



(日の出&夕焼け)*

日の出や夕焼けなどを雲囲気たっぷりに表現する。



◎(打ち上げ花火)*

打ち上げ花火をきれいに撮影する。



▲(風景)*

遠景まではっきり撮影できる。ガラスや金網越しに撮るととも、向こうの被写体にピントが合うようになる。



✿(ポートレート)

背景をぼかして、前にいる人物や花などをソフトに引き立てる。



(スポットライト)**

スポットライトを浴びている人物の顔などが白く飛んでしまうのを防ぐ。



⌘(ビーチ)**

海や湖畔などで、水の青さを鮮やかに撮影できる。



3(スノー) **

ゲレンデなどの白い風景で、画面が暗くなるのを防ぎ、明るくする。



- * 遠景のみにピントが合うように設定されます。
- ** 近くのものにピントが合わないように設定されます。

④ ご注意

- ・[シーンセレクション]を設定すると、[ホワイ トバランス]、[絞り]、[シャッタースピード]の設定が解除されます。

セルフタイマー

PHOTOボタンを押すとカウントダウンが始まり、約10秒後に静止画を撮影します。

▶ 切

セルフタイマーを解除する。

入(心)

セルフタイマーで撮影する。一度撮影すると、解除されます。また、撮影を中止するには を選ぶ。

④ ご注意

- ・設定を変更したあとに[2D/3Dモード切換]の設定を変更すると、お買い上げ時の設定に戻ります。

テレマクロ

背景をぼかして、被写体をより際立たせることができます。花や昆虫など小さいものを撮るときに便利です。

▶ 切

近接撮影を解除する。(または、ズームを広角(W側)にすると解除される。)

入(ツバ)

ズーム(18ページ)が自動で望遠(T側)になり、約38cmまでの近接撮影ができる。

**④ ご注意**

- ・設定を変更したあとに[2D/3Dモード切換]の設定を変更すると、お買い上げ時の設定に戻ります。
- ・被写体が遠いときはピントが合いにくく、ピントが合うまでに時間がかかる場合があります。
- ・ピントが合いにくいときは、手動でピントを合わせてください([フォーカス]、50ページ)。

■ 手ブレ補正

手ブレを補正して撮影できます。

三脚(別売)を利用するときは、[切] () にすると自然な画像になります。

▶ アクティブ

強い手ブレ補正効果を得る。

スタンダード

比較的安定した状態で、より広角で撮影する。

切()

手ブレ補正機能を使わない。

④ ご注意

- 手ブレ補正]の設定を変更すると、画角が変わります。

手ブレ補正



手ブレを補正して撮影できます。
三脚(別売)を利用するときは、[切]()にすると自然な画像になります。

▶ 入

手ブレ補正機能を使う。

切(

手ブレ補正機能を使わない。

デジタルズーム



デジタルズームを使用できます。
デジタル処理のため画質は劣化します。

▶ 入

デジタルズームを行う。

切

デジタルズームを行わない。

⑤ ちょっと一言

- 2Dモードでのみ設定を変更できます。
- 静止画撮影モードのときは[入]に固定されます。

自動逆光補正



自動で逆光補正をします。

▶ 入

自動で逆光補正を行う。

切

逆光補正を行わない。

ダイヤル設定



29ページをご覧ください。

顔検出



人物の顔検出の設定を選びます。被写体の顔部分に合わせてフォーカス/色/露出を自動的に調節します。

オート

大人、子どもの区別なく、顔を検出する。

こども優先(

子どもの顔を優先的に検出する。

おとな優先(

大人の顔を優先的に検出する。

▶ 切(OFF)

顔検出をしない。

⑥ ご注意

- 顔を検出しても、顔枠は表示されません。
- 撮影環境や、被写体の状態、設定によっては、顔部分を検出できないことがあります。
- 撮影環境によっては正しい効果が得られない場合があります。この場合は、[顔検出]を[切]にしてください。

⑦ ちょっと一言

- ・顔検出をしやすくするためにには以下のようないくつかの状況で撮影してください。
 - 適度に明るい場所で撮影する
 - 帽子やマスク、サングラスなどで顔が隠れないようにする
 - 顔を本機の正面に向ける

くっきり音声



人物の顔を検出して声をよりクリアに記録します。

入

人物の声をクリアに記録する。

▶ 切(OFF)

周囲の音を忠実に録音する。演奏会などで、そのままの音を記録したい場合は[切]にする。

④ ご注意

- ・本機に外部マイクをつないでいるときは、[くっきり音声]は無効になります。

自動風ノイズ低減



内蔵マイクで記録時に雑音レベルに応じて低域の風雑音を自動的にカットし、低減します。

切(※)

風音低減しない。

▶ 入

風雑音を低減して、風音を除去する。

⑤ ご注意

- ・[切]に設定すると、おまかせオートも[切]になります。
- ・本機に外部マイクをつないでいるときは、[自動風ノイズ低減]は無効になります。

マイク基準レベル



録音時のマイクレベルを選びます。

▶ 標準

周囲の音を一定のレベル内におさめて録音する。

低(↓)

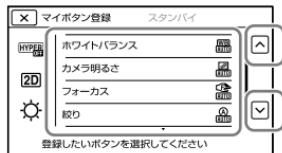
周囲の音を忠実に録音する。演奏会などで、臨場感のある音を録音したいときは[低]を選ぶ。(日常の会話の録音などには適していません。)

マイボタン登録

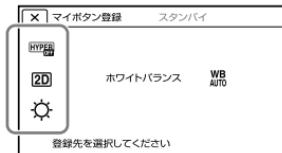


撮影時によく使う項目をマイボタンに登録できます。

- ① [マイボタン登録]を選択してから、登録したいメニューを□/▽で選んで、登録したいボタンを選ぶ。



- ② カスタマイズしたいボタンを選ぶ。



- ③ [OK]を選ぶ。

グリッドライン



グリッドラインを表示して、被写体が水平、垂直になっているかを確認できます。グリッドラインは記録されません。

▶ 切

グリッドラインを表示しない。

入

グリッドラインを表示する。



⑥ ご注意

- ・動画撮影モードでは、グリッドラインは表示されません。

画質・画像サイズ

(画質や画像サイズに関する設定)

⌚ ちょっと一言

- ・グリッドラインの交差点に被写体を置くと、バランスの良い構図になります。

画面表示設定



ファインダーに撮影時の画面表示が表示される時間を設定します。

▶ オート

画面表示を約3秒間だけ表示する。

入

画面表示を常時表示する。

⌚ ちょっと一言

- ・次の操作をすると、画面表示が再表示されます。
 - 本機の電源を入れたとき
 - マルチセレクターを操作したとき
 - 動画撮影/静止画撮影/再生モードを切り換えたとき

メニューの操作方法は45ページをご覧ください。

▶はお買い上げ時の設定です。

■ 録画モード



27ページをご覧ください。

■ フレームレート



通常の撮影は[60i]([50i])をおすすめします。フレームレートを選んだ後に、[■ 録画モード]の設定を行います(27ページ)。

▶ 60i(50i)

通常の設定。

60p(50p)

60i(50i)の2倍の情報量でよりきれいに記録する。テレビで見るときに60p(50p)に対応していないテレビの場合、60i(50i)として出力される。

⌚ ご注意

- ・[■ 録画モード]の設定によって、記録した動画を保存できる記録メディアが異なります。詳しくは、27ページをご覧ください。

⌚ ちょっと一言

- ・フレームレートとは、単位時間あたりの画面の更新回数です。

2D/3Dモード切換

本機の動作モードを2Dと3Dで切り替えることができます。

▶ 2D

2Dで記録・再生します。

3D

3Dで記録・再生します。

⚡ ご注意

- 3Dモードでは、最大双眼鏡倍率は約6倍になります。より高倍率で被写体を観察・撮影したいときは、2Dモードに切り換えてください。
- 3Dモードでは静止画の記録・再生はできません。

▣ x.v.Color

より広い色域で記録できます。鮮やかな花の色や、南国の海の美しい青緑色などを、より忠実に再現することが可能になります。

▶ 入

x.v.Colorで撮影する。

切

通常の色域で撮影する。

⚡ ご注意

- [入]にして撮影した画像をx.v.Colorに非対応のテレビで再生すると、色が正しく再現されない場合があります。

▢ 画像サイズ

撮影する静止画のサイズを選びます。

▶ 16:9 L (20.4M)

鮮明な画像をワイド(16:9)で撮影する(6,016×3,384)。

4:3 L (15.3M)

鮮明な画像を撮影する(4,512×3,384)。

16:9 M (10.0M)

比較的きれいな画像をワイド(16:9)でたくさん撮影する(4,224×2,376)。

4:3 M (5.0M)

比較的きれいな画像をたくさん撮影する(2,592×1,944)。

16:9 S (2.1M)

ワイド(16:9)でたくさんの画像を撮影する(1,920×1,080)。

4:3 S (VGA)

たくさんの画像を撮影する(640×480)。

⚡ ご注意

- ワイド(16:9)で撮影した静止画をお店でプリントするときは、注文時に「ハイビジョンサイズ」とご指定ください。ご指定がない場合、画像の左右が切れてプリントされることがあります。

- 撮影可能枚数は75ページをご覧ください。

編集・コピー (編集に関する設定)

メニューの操作方法は45ページをご覧ください。

削除

30ページをご覧ください。

プロジェクト

31ページをご覧ください。

コピー

41ページをご覧ください。

ダイレクトコピー

42ページをご覧ください。

セットアップ (その他のいろいろな設定)

メニューの操作方法は45ページをご覧ください。

▶はお買い上げ時の設定です。

メディア情報



録画モードごとの録画可能時間や、記録メディアの使用領域と空き領域の目安を確認できます。

終了するには

[] を選ぶ。

ご注意

- ・管理ファイル用領域があるため、[フォーマット](58ページ)を行っても、使用領域の表示は0%になりません。

フォーマット



フォーマット(初期化)とは記録メディア内の動画・静止画をすべて削除して、容量を元に戻すことです。

[OK] → [OK] を選んでください。

ご注意

- ・本機の電源は、ACアダプターを使ってコンセントから取ってください(12ページ)。
- ・大切な画像は保存してから[フォーマット]してください。
- ・プロジェクトされた動画・静止画も削除されます。
- ・[実行中]が表示されているときは、ボタンを操作したり、メモリーカードを取り出したり、ACアダプターを外したりしないでください(メモリーカードのフォーマット中はアクセスランプが点灯・点滅します)。

管理ファイル修復



69,72ページをご覧ください。

ファイル番号



静止画のファイル番号の付けかたを選びます。

▶ 連番

静止画のファイル番号を連続して付ける。
撮影するたびに画像のファイル番号が大きくなる。
メモリーカードを取り換えた場合も、
ファイル番号は連続して付く。

リセット

メモリーカードに存在している最大ファイル番号の次の番号を付ける。
メモリーカードを取り換えた場合は、メモリーカードごとにファイル番号が付く。

日付/データ表示



撮影時に自動的に記録された情報(日付時刻データやカメラデータ)を再生時に確認できます。

▶ 切

日付時刻データやカメラデータを表示しない。

日付時刻データ

記録した画像の日付・時刻データを表示する。

カメラデータ

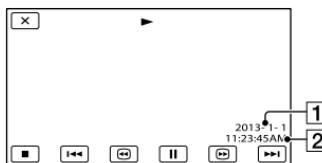
記録した画像のカメラデータを表示する。

緯度経度データ*

記録した画像の緯度経度データを表示する。

* DEV-50V

日付時刻データ

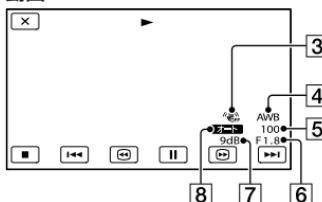


① 日付

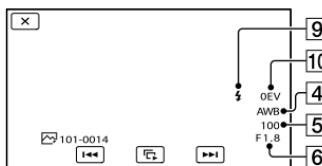
② 時刻

カメラデータ

動画



静止画



③ 手ブレ補正切

④ ホワイトバランス

⑤ シャッタースピード

⑥ 紋り値

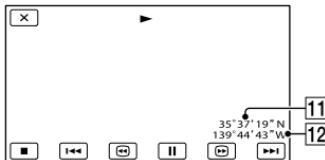
⑦ ゲイン

⑧ 明るさ調節

⑨ フラッシュ

⑩ 露出補正量

緯度経度データ(DEV-50V)



[1] 緯度

[2] 経度

⌚ ちょっと一言

- ・本機をテレビにつなぐとテレビ画面にも表示されます。
- ・メモリーカードの状態によっては、[---]と表示されます。

音量



[□-] / [□+] を選び音量を調節できます。

TVタイプ



つなぐテレビの横縦比に合わせて出力信号を変換します。

▶ 16:9

ワイドテレビで再生するときに選ぶ。次のように再生される。

ワイド(16:9)で撮 4:3で撮影した画像
影した画像



4:3

4:3テレビで再生するときに選ぶ。次のように再生される。

ワイド(16:9)で撮 4:3で撮影した画像
影した画像



⚡ ご注意

- ・動画を記録するときの横縦比は16:9になります。

HDMI 3D方式切換 ➡️ 🕛

本機と3D対応テレビをHDMIケーブルでつなぐ場合の出力フォーマットを選びます。

▶ オート

通常の設定(テレビの出力可能なフォーマットをオートで出力)。

フレームパッキング

左右のハイビジョン画像をそのままの画質で出力。

サイドバイサイド

左右のハイビジョン画像の解像度を半分にし、横に並べて出力。

HDMI解像度 ➡️ 🕛

HDMI端子からテレビに出力する信号の種類を選びます。

▶ オート

通常の設定(テレビの表示可能な信号をオートで出力)。

1080p

1080pで出力する。

1080i

1080iで出力する。

720p

720pで出力する。

480p(576p)

480p(576p)で出力する。

480i(576i)

480i(576i)で出力する。

④ ご注意

- ・[フレームレート]を[60p]([50p])に設定中は、HDMI解像度の設定によって下記の制限があります。
 - [720p]、[480p]([576p])設定中：撮影中にHDMI出力ができません。

HDMI機器制御



HDMIケーブルでブラビアリンク対応のテレビとつないで再生するとき、テレビのリモコンで本機の再生操作ができます(26ページ)。

▶ 入

テレビのリモコンで操作する。

切

テレビのリモコンで操作しない。

USB接続



USBケーブルで本機と接続機器をつないでもUSB接続が開始しないときに使います。

USB LUN設定



USB接続の機能を制限して互換性を高めます。

▶ マルチ

通常は[マルチ]のまま使う。

シングル

どうしても接続できない場合のみ、こちらにする。

ファインダー明るさ



ファインダーの明るさを5段階で調節できます。

ファインダー調整



快適な画像を見るために、左右のファインダーに表示される画面の上下相対位置を調整します。

[+] / [-] で横線と縦線が重なるようにして、[OK]を選んでください(14ページ)。使用状況によっては、ファインダー調整を促す画面が表示されることがあります。

④ ご注意

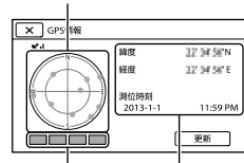
- ・[ファインダー調整]は以下の場合に行ってください。調整前には眼幅調整や視度調整を行うことをおすすめします。
 - 表示に違和感や不快感を感じたとき
 - 使用者が変わったとき
 - 本機に強い衝撃が加わったとき
 - 炎天下や寒冷地など気温変化が大きい場所で使用するとき
- ・縦線と横線が重ならない場合や、横線が大きく傾いている場合は、本機の使用を中止して相談窓口にご相談ください。

GPS情報 (DEV-50V)



測位情報を表示します。

衛星アイコン



測位ゲージ 受信した情報

取得情報の見かた

衛星表示/測位 状態

ゲージの色

●/■(黒)	信号なし/軌道情報あり
●/■(グレー)	軌道情報33%取得済み
●/■(茶色)	軌道情報66%取得済み
●/■(黄土色)	軌道情報99%取得済み
●/■(緑)	測位利用中

位置情報が測位できなかったときは

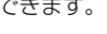
測位優先モードが起動します。他の機能を停止して衛星を探索するので、GPS信号を受信しやすくなります。

手動で位置情報を受信するには[更新]を選んでください。

測位情報画面を閉じるには

[×]を選ぶ。

GPS(DEV-50V)



GPS信号を受信するか、受信しないかを切り替えます。

▶ 入

GPS信号を受信する。

切

GPS信号を受信しない。

④ ご注意

- [入]にしても、測位が成功するまで位置情報は記録されません。

録画ランプ



撮影中に本体後面の録画ランプが点灯しないように設定できます。

▶ 入

点灯する。

切

点灯しない。

操作音



入

撮影スタート/ストップ時などにメロディが鳴る。

切

メロディを鳴らさない。

言語設定



画面上に表示する言語を設定できます。

60i/50i切換



本機をお使いになる国、地域のテレビ方式によって、設定を選びます(76ページ)。テレビ方式がNTSCのときは[60i]、PALのときは[50i]を選ぶ。

④ ご注意

- 60i(50i)でフォーマットや記録を行ったメモリーカードは、50i(60i)では記録・再生はできません。60i/50i切り換え後、「本機と異なるビデオ信号方式の映像が記録されています 動画の記録はできません」というお知らせメッセージが表示された場合は、別のメモリーカードをお使いになるか、「フォーマット」(58ページ)をしてください。

バッテリーインフォ

装着しているバッテリー残量(撮影・再生可能時間)の目安を確認できます。

パワーセーブ

何も操作しない状態が約5分以上続くと、自動的に電源が切れるように設定できます。

入

自動的に電源が切れる。

▶ 切

自動的に電源は切れない。

⚡ ご注意

- コンセントにつないでいるときは、自動的に電源は切れません。

設定リセット

設定をお買い上げ時の状態に戻します。
[設定リセット]を実行しても、画像は削除されません。

日時設定

■ 表示形式

年-月-日の表示順を4種類の表示順の中から選べます。

■ サマータイム

サマータイムとは、夏の一定期間、日照時間を有効に使うために時計を標準時間より進める制度で、欧米諸国では広く採用されています。本機で[サマータイム]を[入]にすると、時計が1時間進みます。

▶ 切

サマータイムに設定しない。

入

サマータイムに設定する。

■ 日時

日時を設定できます。◀/▶で項目を選んで、▲/▼で値を設定してください。

エリア設定

時計を止めることなく時差補正ができます。本機を使用する場所に適した時刻に合わせることができます。「世界時刻表」(77ページ)もご覧ください。

DEV-30/50

「自宅」または「訪問先」を選んでエリアを設定できます。

▶ 自宅

お住まいの地域で使用する。

訪問先(♪)

訪問先の時刻に合わせて使用する。
訪問先のエリアを設定する。

⌚ ちょっと一言

- よく訪れる訪問先がある場合、[訪問先]に設定しておくと便利です。
- 画面左下の  /  を選ぶと、サマータイムを設定できます。

DEV-50V

エリアを設定できます。

⌚ ちょっと一言

- [自動エリア補正]が[入]の場合、GPSから受信した情報をを利用して、自動的に現地時刻に設定されます。
- 画面左下の  /  を選ぶと、サマータイムを設定できます。

自動時刻補正 (DEV-50V)



GPSから時刻を取得して、正確な時刻を維持します。

▶ 入

自動で時刻を補正する。

切

自動で時刻を補正しない。

④ ご注意

- ・時計合わせ(13ページ)をしておいてください。
- ・[自動時刻補正]は、数秒の誤差が生じることがあります。
- ・[自動時刻補正]は、本機の起動中にGPS信号を受信して測位に成功したときに時刻を補正します。一度補正したら次の起動まで行いません。
- ・地域によっては、[自動時刻補正]が正確に機能しない場合があります。その場合は、設定を[切]にしてください。

自動エリア補正 (DEV-50V)



GPSから現在地情報を取得して、時差を検出した場合、自動で補正します。

▶ 入

自動で時差を補正する。

切

自動で時差を補正しない。

④ ご注意

- ・時計合わせ(13ページ)をしておいてください。
- ・[自動エリア補正]は、時差を検出するたびに自動で時差補正を行います。
- ・地域によっては、[自動エリア補正]が正確に機能しない場合があります。その場合は、設定を[切]にしてください。

② 故障かな?と思つたら

困ったときは、下記の流れに従って対応してください。

- ① 65 ~ 73ページの項目をチェックし、本機を点検する。

- ② 電源を取り外し、約1分後に再び取り付け、本機の電源を入れる。

- ③ MENU(メニュー) → [セットアップ] → [一般設定] → [設定リセット]を選ぶ。

この操作を行うと、日時やエリアなどの設定が解除されます。

- ④ ホームページなどで確認する。
<http://www.sony.jp/support/binoculars/>

- ⑤ 相談窓口に電話で問い合わせる(89ページ)。

- ・全体操作 65ページ
- ・バッテリー・電源 66ページ
- ・ファインダー 66ページ
- ・メモリーカード 67ページ
- ・撮影 67ページ
- ・再生 68ページ
- ・他機でのメモリーカード再生 69ページ
- ・本機での編集 69ページ
- ・テレビでの再生 69ページ
- ・ダビング・外部機器接続 70ページ
- ・パソコンとの接続 70ページ

全体操作

電源が入らない。

- ・充電されたバッテリーを取り付ける(11ページ)。
- ・ACアダプターをコンセントに差し込む(11ページ)。

電源が入っているのに操作できない。

- ・電源を入れてから撮影が可能になるまで数秒かかりますが、故障ではありません。
- ・電源(バッテリーまたはACアダプターの電源コード)を取り外し、約1分後に電源を取り付け直す。

メニュー項目の設定が変わっている。

- ・おまかせオート中は、画質・音質に関わる設定が自動的に設定されます。
- ・次のメニュー項目は、静止画撮影モードから他のモードに切り換えると、お買い上げ時の設定に戻ります。

- [CAM] セルフタイマー
- [テレマクロ]
- [ホワイトバランス]
- [絞り]
- [シャッタースピード]
- [Low Lux]
- [シーンセレクション]
- [自動逆光補正]

本機が温かくなる。

- ・使用中に本機が温かくなることがあります。故障ではありません。

本機を振ると音がする。

- ・電源を入れて撮影モードで振ったときに音がしなければ、内部のレンズが動く音です。故障ではありません。

おまかせオートが解除される。

- 次の設定を変更するとおまかせオートは解除されます。
 - [ホワイトバランス]
 - [カメラ明るさ]
 - [フォーカス]
 - [絞り]
 - [シャッタースピード]
 - [AEシフト]
 - [WBシフト]
 - [Low Lux]
 - [ハイパーゲイン]
 - [シーンセレクション]
 - [自動風ノイズ低減]
 - [テレマクロ]
 - [手ブレ補正]
 - [手ブレ補正]
 - [自動逆光補正]
 - [顔検出]

ハイパーゲインが解除される。

- 次の設定を変更するとハイパーゲインは解除されます。
 - おまかせオート
 - [Low Lux]
- 本機の電源の入/切で、自動的に[切]（お買い上げ時の設定）に戻ります。

バッテリー・電源

電源が途中で切れる。

- ACアダプターを使用する。
- バッテリーを充電する(11ページ)。

バッテリーの充電中、CHG(充電)ランプが点灯しない。

- POWERボタンを押して電源を切る。
- バッテリーを正しく取り付け直す(11ページ)。

- コンセントにプラグを正しく差し込む。
- すでに充電が完了している(11ページ)。

バッテリーの充電中、CHG(充電)ランプが点滅する。

- バッテリーの温度が高すぎる、または低すぎると、充電できないことがあります(80ページ)。
- バッテリーを正しく取り付け直す(11ページ)。それでも点滅するときは、故障のおそれがあるため、コンセントからプラグを抜き、相談窓口にお問い合わせください。

バッテリー残量が正しく表示されない。

- 周囲の温度が極端に高い・低い、または充電が不充分なためで、故障ではありません。
- 満充電し直す。それでも正しく表示されないときはバッテリーの寿命です。新しいバッテリーに交換してください(81ページ)。
- 使用状況や環境によっては正しく表示されません。

バッテリーの消耗が早い。

- 周囲の温度が極端に高い・低い、または充電が不充分なためで、故障ではありません。
- 満充電し直す。それでも消耗が早いときはバッテリーの寿命です。新しいバッテリーに交換してください(81ページ)。

ファインダー

メニュー項目が灰色で表示され、選択できない。

- その項目は選択できない状態です。項目を選ぶと、選択できない理由が表示されます。
- 機能によっては、一緒に使えないものがあります。

ファインダーの画像がはっきりしない。

- 左右それぞれの視度調節つまみを画像がはっきり見えるように調節する(13ページ)。
- ファインダーの左右間隔を見やすい位置に調整する(眼幅調整)(14ページ)。
- [ファインダー調整]を行ってください(61ページ)。

3D画像に違和感を感じる。

- [自動3Dレンズ調整]を行ってください(52ページ)。
- FINDER 2D/3D(ファインダー表示切り換え)ボタンを押して、ファインダー表示を2Dに切り換える(19ページ)。

メモリーカード

メモリーカードを入れても操作を受け付けない。

- パソコンでフォーマット(初期化)したメモリーカードを入れている場合は、本機でフォーマットする(58ページ)。

メモリーカードの画像が削除できない。

- 編集画面では、削除する画像を1度に100枚までしか選択できません。
- プロテクトをかけた画像は削除できません。

データファイル名が正しくない、または点滅している。

- ファイルが壊れている。
- 本機で対応しているファイル形式を使う(79ページ)。

撮影

「メモリーカード」(67ページ)もご覧ください。

START/STOPボタンやPHOTOボタンを押しても撮影できない。

- 再生画面になっている。MODEボタンを押して、 (動画)ランプまたは (静止画)ランプを点灯させる(20ページ)。
- 直前に撮影した画像をメモリーカードに書き込んでいる。書き込んでいる間は、新たに撮影できません。
- メモリーカードの空き容量がない。不要な画像を削除する(30ページ)。
- 動画のシーン数や静止画の枚数が本機で撮影できる上限を超えている(74、75ページ)。不要な画像を削除する(30ページ)。

静止画を撮影できない。

- 動画モードのときは静止画を撮影できません。MODEボタンを押して、静止画モードに切り換えてください(21ページ)。
- [2D/3Dモード切換]が[3D]になっているときは静止画を撮影できません。あらかじめ [2D]を選んでから(57ページ)、静止画撮影モードに切り換えてください。

撮影を止めてもアクセスランプがついている。

- 撮影した画像をメモリーカードに書き込んでいる。

画角が異なって見える。

- 本機の状態によっては画角が異なって見える場合があります。故障ではありません。

実際の動画の録画可能時間が、目安とされている時間より短い。

- 動きの速い映像を記録したときなど、撮影環境によっては、録画可能時間が短くなります(74ページ)。

録画が止まる。

- 本機に振動を与えつづけると録画が停止することがあります。

START/STOPボタンを押した時点と、記録された動画の開始・終了時点がずれる。

- 本機では、START/STOPボタンを押してから実際に録画が開始・終了するまでに若干の時間差が生じことがあります。故障ではありません。

オートフォーカスができない。

- [手ブレ補正]を[オート]にする(50ページ)。
- オートフォーカスが働きにくい状態のときは、手動でピントを合わせる(50ページ)。

手ブレ補正ができない。

- [手ブレ補正]を[アクティブ]または[スタンダード]、[手ブレ補正]を[入]にする(53ページ)。
- [手ブレ補正]が[アクティブ]または[スタンダード]、[手ブレ補正]が[入]になっていても、手ブレが大きすぎると補正しきれないことがあります。
- ズーム倍率が大きい場合は、効果を感じにくいことがあります。

画面をすばやく横切る被写体が曲がって見える。

- フォーカルプレーンという現象で、故障ではありません。撮像素子(CMOSセンサー)の画像信号を読み出す方法の性質により、撮影条件によっては、レンズの前を非常に速く横切る被写体が少しうがんで見えることがあります。

横帯が現れる。

- 蛍光灯、ナトリウム灯、水銀灯など放電管による照明下ではこのような症状が現れることがあります。故障ではありません。

音声が正しく記録されない。

- 動画記録中に外部マイクなどを抜いた場合、音声が正しく記憶されない場合があります。
- 動画記録開始時のマイク接続状態に戻すことで正しく記録されます。

再生

画像を再生できない。

- 他機で撮影した動画・静止画は、再生できなかったり、正しいサイズで表示されなかったりすることがあります。故障ではありません。
- 3Dモードのときは、2Dで記録された動画は再生できません。

静止画が再生できない。

- パソコンでフォルダやファイル名を変更、または画像加工すると、再生できない場合があります(ファイル名が点滅)。故障ではありません。

- [2D/3Dモード切換]が[3D]になっているときは静止画を再生できません。あらかじめ[2D]を選んでから(57ページ)、再生してください。

サムネイル画像の代わりに ? が表示される。

- 他機で撮影した静止画や、パソコンで画像加工した画像などはこのように表示されることがあります。
- 撮影後に画面右上のメモリーカードアイコン点灯中や、アクセスランプが消える前に、本機からACアダプターやバッテリーを外した。この操作をすると、画像データが壊れて ? が表示されることがあります。

サムネイル画像の代わりに ✗ が表示される。

- 管理ファイルが壊れている。[MENU](メニュー)→[セットアップ]→[メディア設定]→[管理ファイル修復]の順に選んで、管理ファイルの状態をチェックする。それでも消えない場合は ✗ が表示されている画像を削除する(30ページ)。

音声が小さい、または聞こえない。

- 音量を大きくする(23ページ)。
- [マイク基準レベル] (55ページ)を[低]にして記録すると、音声が小さくなる場合があります。

他機でのメモリーカード再生

再生できない、またはメモリーカードが認識されない。

- 再生機器がメモリーカードの再生に対応していません(2ページ)。

本機での編集

編集できない。

- 動画の状態により編集ができなくなっている。

分割できない。

- 極端に記録時間の短い動画は分割できません。
- プロテクトをかけた動画は分割できません。

テレビでの再生

テレビにつないで再生するとき、画像や音声が出ない。

- 著作権保護のための信号が記録されている映像は、HDMI出力端子から出力できません。

テレビにつないで再生すると、画面の上下左右が若干切れて表示される。

- 本機の画面は記録エリア全体を表示できるフルピクセル表示のため、フルピクセル表示に対応していないテレビにつないで再生すると画面の上下左右が若干切れて表示されます。

4:3テレビにつないで再生したら、画像がつぶれて見える。

- 撮影した動画を4:3テレビで見るときに起こる現象です。[TVタイプ]を正しく設定して再生する(60ページ)。

4:3テレビにつないで再生したら、上下に黒い帯が入る。

- 撮影した動画を4:3テレビで見るときに起こる現象で、故障ではありません。

自己診断・警告表示

ダビング・外部機器接続

ダビングできない。

- HDMIケーブルを使ってのダビングはできません。
- AVケーブル(別売)が正しくつながっていない。他機の入力端子へつながれているか確認する(43ページ)。

パソコンとの接続

「PlayMemories Home」がインストールできない。

- パソコンの環境、インストール手順を確認する。

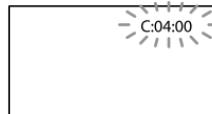
「PlayMemories Home」が正しく動作しない。

- 「PlayMemories Home」を終了し、パソコンを再起動する。

本機がパソコンに認識されない。

- キーボード、マウス、本機以外で、パソコンのUSB端子につながっている他の機器を取り外す。
- パソコンから本機のマイクロUSBケーブルを抜き、パソコンを再起動させてから、正しい手順でもう一度パソコンと本機をつなぐ。

画面に次のように表示されます。2、3回対応を繰り返しても正常に戻らないときは、相談窓口にお問い合わせください。CまたはEからはじまる数字すべてをお知らせください。



C:(またはE):□□:□□(自己診断表示)

C:04:□□

- “インフォリチウム”バッテリーVシリーズ以外のバッテリーが使われている。必ず“インフォリチウム”バッテリーVシリーズを使う(80ページ)。
- ACアダプターのDCプラグを本機のDC IN端子にしっかりとつなぐ(11ページ)。

C:06:□□

- バッテリーが高温になっている。バッテリーを交換するか、バッテリーを涼しいところに置く。

C:13:□□ / C:32:□□

- 電源をいったん取り外し、取り付け直してからもう一度操作する。

E:□□:□□

- 65ページの手順②からお試しください。

□(バッテリー残量に関する警告)

- バッテリー残量が少ない。
- 使用状況や環境、バッテリーパックによっては、バッテリー残量が約20分程でも警告表示が点滅することがあります。

▲(バッテリーの温度に関する警告)

- ・バッテリーが高温になっている。バッテリーを交換するか、バッテリーを涼しいところに置く。

HDMI(温度の上昇によるHDMI出力停止の警告)

- ・HDMI出力の停止温度に達しているため、接続されているモニターなどに画像が表示されない。温度が下がるまで放置する。ただし、本機では継続して撮影を行うことができます。

□(メモリーカード関連の警告)

遅い点滅

- ・撮影に必要な空き容量が少なくなっている。本機で使えるメモリーカードについては、16ページをご覧ください。

速い点滅

- ・撮影に必要な空き容量がない。不要な画像を削除するか、画像を保存(バックアップ)してから(38ページ)、メモリーカードをフォーマットする(58ページ)。
- ・管理ファイルが壊れている。[MENU](メニュー)→[セットアップ]→[メディア設定]→[管理ファイル修復]の順に選んで、管理ファイルの状態をチェックする。

△(メモリーカードフォーマット関連の警告)

- ・メモリーカードが壊れている。
- ・メモリーカードが正しくフォーマットされていない(58ページ)。

□(非対応メモリーカード関連の警告)

- ・本機では使えないメモリーカードを入れた(16ページ)。

□(メモリーカード誤消去防止に関する警告)

- ・メモリーカードの誤消去防止スイッチが書き込み禁止になっている。
- ・他機でアクセスコントロールをかけたメモリーカードを使っている。

■(外付けメディア関連の警告)

- ・管理ファイルが壊れている。[MENU](メニュー)→[セットアップ]→[メディア設定]→[管理ファイル修復]の順に選んで、管理ファイルの状態をチェックする。

△(外付けメディアのフォーマット関連の警告)

- ・外付けメディアが壊れている。
- ・外付けメディアが正しくフォーマットされていない。

●(手ブレ警告)

- ・手ブレが起りやすくなっているので、本機を両手でしっかりと固定して撮影する。ただし、手ブレマークは消えません。

●(静止画撮影に関する警告)

- ・メモリーカードの空き容量がない。
- ・処理中のため、一時的に静止画記録ができない。しばらく待ってから撮影する。

●(ちょっと一言)

- ・メッセージによっては表示されるときに警告音が鳴ります。

お知らせメッセージの例

お知らせメッセージが表示されたときは、その指示に従ってください。

メモリーカード

データエラーが発生しました

- ・メモリーカードへの書き込み中、または読み出し中にエラーが生じた。
- ・本機に振動を与えたときに、発生することがあります。
- ・他機で撮影した動画は再生できないことがあります。

管理ファイルに不整合が見つかりました 修復しますか？

管理ファイルに不整合が見つかりました HD動画を記録・再生できません 修復しますか？

- ・管理ファイルが破損しているので、動画・静止画撮影ができません。[OK] を選び、修復する。

管理ファイルに不整合が見つかりました バックアップして修復します

修復したあと付属のPCソフトウェアで 取り込んでください

- ・動画の管理情報が破損し、管理ファイルとの間に不整合が発生しています。[OK] を選ぶと動画をバックアップして管理ファイルを修復します。バックアップされた動画は本機では認識できません。

修復したあと本機とソフトウェア「PlayMemories Home」をインストールしたパソコンをつなぐと、バックアップされた動画をパソコンに取り込むことができます。ただし、すべての動画の取り込みを保証するものではありません。

バッファオーバー メディアへの書き込みが間に合いませんでした

- ・記録と削除を繰り返したり、他機でフォーマットしたメモリーカードが使われている。データをパソコンなどのハードディスクにバックアップした後、本機でフォーマットし直す(58ページ)。
- ・お使いのメモリーカードの書き込み性能が、動画の記録時間に充分ではありません。本機での使用をおすすめしているメモリーカードをお使いください(16ページ)。

データ修復中

- ・メモリーカードに正常な記録がされなかつた場合、自動的にデータの修復を試みます。

データを修復ませんでした

- ・データ書き込みに失敗したため修復を試みたが、データが復活しなかった。メモリーカードへの書き込みや編集ができなくなる場合があります。

メモリーカードを入れなおしてください

- メモリーカードを2、3回入れ直す。それでも表示されるときはメモリーカードが壊れている可能性があるので交換してください。

このメモリーカードは認識できません フォーマットしてからお使いください

- メモリーカードを本機でフォーマットする(58ページ)。フォーマットすると、メモリーカードに記録されているすべてのデータが消去されますので、ご注意ください。

静止画用フォルダがいっぱいです 静止画の記録はできません

- 作成できるフォルダは、999MSDCFまでです。本機でフォルダの作成、消去はできません。
- メモリーカードを本機でフォーマットする(58ページ)。フォーマットすると、メモリーカードに記録されているすべてのデータが消去されますので、ご注意ください。

このメモリーカードは動画を記録・再生 できない可能性があります

- 本機での使用をおすすめしているメモリーカードをお使いください(16ページ)。

このメモリーカードは正常に記録・再生 できない可能性があります

- 本機での使用をおすすめしているメモリーカードをお使いください(16ページ)。
- 相談窓口にお問い合わせください。

書き込み中にメモリーカードが抜かれました　データが壊れた可能性があります

- メモリーカードをもう一度入れて、画面の指示に従う。

外付けメディアは実行できない状態です

- [MENU](メニュー)→[セットアップ]→[メディア設定]→[管理ファイル修復]の順に選んで、管理ファイルの状態をチェックする。
- それでも表示される場合は、外付けメディアを接続し直したあと、フォーマットしてください。フォーマットすると、外付けメディアに記録されているすべてのデータが消去されますので、ご注意ください。
- フォーマットに失敗する場合は、本機で対応していない外付けメディアか、もしくは外付けメディアが壊れている可能性があるので交換してください。

その他

制限枚数を超えています

- 次のときは、1度に100個までしか画像を選択できません。
 - 画像の削除
 - 画像のプロテクト、解除
 - 画像のコピー

記録時間・枚数について

バッテリーごとの使用可能時間の目安

撮影可能時間

満充電からのおよその時間です。

2Dモード時 (単位:分)

バッテリー型名	連続撮影時	実撮影時
NP-FV70	185	95
NP-FV100	375	195

3Dモード時 (単位:分)

バッテリー型名	連続撮影時	実撮影時
NP-FV70	150	80
NP-FV100	305	160

モニタリング*可能時間

満充電からのおよその時間です。

2Dモード時 (単位:分)

バッテリー型名	連続使用時
NP-FV70	210
NP-FV100	415

3Dモード時 (単位:分)

バッテリー型名	連続使用時
NP-FV70	190
NP-FV100	385

* モニタリングとは、記録を行わずにファインダーで被写体を観察している状態のことです。

再生可能時間

満充電からのおよその時間です。

(単位:分)

バッテリー型名	2D	3D
NP-FV70	315	270
NP-FV100	625	535

- 2D時のそれぞれの時間は[]が[標準]のときのものです。

• 実撮影時とは、録画スタンバイ/スタート、MODEランプの切り換え、ズーム操作などを繰り返した時の時間です。

- 25°Cで使用したときの時間です。10°C～30°Cでのご使用をおすすめします。
- 低温の場所で使うと、撮影・モニタリング・再生可能時間はそれぞれ短くなります。
- 使用状態によって、撮影・モニタリング・再生可能時間が短くなります。
- バッテリーの残容量表示(84ページ)は、撮影・再生可能時間を表示します。

動画の撮影可能時間の目安

メモリーカード

(単位:分)

	16 GB	32 GB	64 GB
3D	75 (75)	150 (150)	305 (305)
AVC HD 28M (PS)	75 (75)	150 (150)	305 (305)
AVC HD 24M (FX)	90 (90)	180 (180)	360 (360)
AVC HD 17M (FH)	120 (120)	245 (245)	495 (495)
AVC HD 9M (HQ)	215 (165)	440 (330)	880 (665)
AVC HD 5M (LP)	380 (310)	770 (630)	1545 (1260)

- ソニー製メモリーカード使用時

④ ご注意

- 撮影可能時間やモニタリング可能時間は撮影環境や被写体の状態、[]と[](56ページ)によっても変わります。
- ()内は最低録画時間です。

⑤ ちょっと一言

- 動画の撮影可能シーン数は、3D動画、2D動画で合わせて最大3,999個です。

- 動画の連続撮影可能時間は以下のとおりです。
2D時：約13時間
3D時：約6時間30分
本機の設定によっては、これより短くなります。
- 撮影シーンに合わせてビットレート(一定時間あたりの記録データ量)を自動調節するVBR (Variable Bit Rate) 方式を採用しています。そのため、メモリーカードへの録画時間は変動します。たとえば、動きの速い映像はメモリーカードの容量を多く使って鮮明な画像を記録するので、メモリーカードの録画時間は短くなります。

静止画の撮影可能枚数の目安

メモリーカード

	16:9 20.4M
16GB	1850
32GB	3800
64GB	7500

- ソニー製メモリーカード使用時
- メモリーカードの撮影可能枚数は、お買い上げ時の設定と本機での最大画像サイズのみ枚数を記載しています。実際の撮影可能枚数については、撮影中の画面上でご確認ください(84ページ)。
- メモリーカードの撮影可能枚数は、撮影環境によって異なる場合があります。

⚡ ご注意

- ソニー独自のクリアビッド画素配列と画像処理システムBIONZにより、静止画は表記の記録サイズを実現しています。

⌚ ちょっと一言

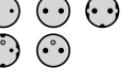
- 各録画モードのビットレート(動画+音声など)、画素数およびアスペクト比は、次のとおりです。
 - 3D動画：
最大28Mbps 1,920×1,080画素/16:9
 - 2D動画：
PS : 最大28Mbps 1,920×1,080画素/16:9
FX : 最大24Mbps 1,920×1,080画素/16:9
FH : 約17Mbps(平均) 1,920×1,080画素/16:9
HQ : 約 9Mbps(平均) 1,440×1,080画素/16:9
LP : 約 5Mbps(平均) 1,440×1,080画素/16:9
- 静止画記録画素数およびアスペクト比
 - 静止画撮影モード：
6,016×3,384ドット / 16:9
4,512×3,384ドット / 4:3
4,224×2,376ドット / 16:9
2,592×1,944ドット / 4:3
1,920×1,080ドット / 16:9
640×480ドット / 4:3
 - 動画から静止画作成：
1,920×1,080ドット / 16:9

海外で使う

電源について

本機は、海外でも使えます。付属のACアダプターは、全世界の電源(AC100V～240V、50Hz/60Hz)で使えます。また、バッテリーも充電できます。ただし、電源コンセントの形状の異なる国や地域では、電源コンセントに合った変換プラグアダプターをあらかじめ旅行代理店でおたずねの上、ご用意ください。電子式変圧器(トラベルコンバーター)は使わないでください。故障の原因となることがあります。

海外のコンセントの種類

壁のコンセントの形状例	主に北米	主にヨーロッパなど
  ↓ 使用する変換 プラグアダプ ター	  主に北米	  主にヨーロッパなど

3D動画を見るには

3Dで記録した動画を3Dで見るには、3D対応テレビ(またはモニター)とHDMIケーブル(付属)が必要です。

ハイビジョン画質を見るには

ハイビジョン画質で記録した画像をハイビジョン画質で見るには、ハイビジョン対応のテレビ(またはモニター)とHDMIケーブル(付属)が必要です。

標準画質を見るには

ハイビジョン非対応の映像/音声入力端子付きのテレビ(またはモニター)と接続ケーブルが必要です。

テレビで見るには

本機で撮影した動画をテレビで見るには、あらかじめ[60i/50i切換]をご覧になる国や地域で採用されているテレビ方式に合わせて設定して撮影してください。

[60i/50i切換]を[60i(NTSC)]に設定する国と地域

日本、アメリカ合衆国、エクアドル、カナダ、コロンビア、ジャマイカ、スリナム、大韓民国、台湾、中央アメリカ、チリ、バハマ、フィリピン、ベネズエラ、ペルー、ボリビア、メキシコなど

[60i/50i切換]を[50i(PAL)]に設定する国と地域

アルゼンチン、イギリス、イタリア、イラク、イラン、インドネシア、ウクライナ、ウルグアイ、オーストラリア、オーストリア、オランダ、ギリシャ、クウェート、クロアチア、シンガポール、スウェーデン、イス、スペイン、スロバキア、タイ、チェコ、中華人民共和国、デンマーク、ドイツ、トルコ、ニュージーランド、ノルウェー、バラグアイ、ハンガリー、フィンランド、ブラジル、フランス領ギアナ、フランス、ブルガリア、ベトナム、ベルギー、ポーランド、ポルトガル、香港、マレーシア、モナコ、ルーマニア、ロシアなど

現地の時間に合わせるには

海外で使うときは、[MENU](メニュー)→[セットアップ]→[⌚時計設定]→[日時設定]→[サマータイム]と、[MENU](メニュー)→[セットアップ]→[⌚時計設定]→[エリア設定]を設定するだけで、時刻を現地時間に合わせることができます(63ページ)。

[自動時刻補正]・[自動エリア補正]が[入]の場合、GPSにより自動的に現地時間に設定されます(DEV-50V)。

世界時刻表

時差	エリア設定
GMT	リスボン、ロンドン
+01:00	ベルリン、パリ
+02:00	ヘルシンキ、カイロ、イスタンブール
+03:00	ナイロビ
+03:30	テヘラン
+04:00	モスクワ、アブダビ、バク
+04:30	カブール
+05:00	カラチ、イスラマバード
+05:30	コルカタ、ニューデリー
+06:00	アルマトイ、ダッカ
+06:30	ヤンゴン
+07:00	バンコク、ジャカルタ
+08:00	香港、シンガポール、北京
+09:00	東京、ソウル
+09:30	アデレード、ダーウィン
+10:00	メルボルン、シドニー
+11:00	ニューカレドニア
+12:00	フィジー、ウェリントン
-11:00	ミッドウェー島
-10:00	ハワイ
-09:00	アラスカ
-08:00	サンフランシスコ、ティファナ
-07:00	デンバー、アリゾナ
-06:00	シカゴ、メキシコシティ
-05:00	ニューヨーク、ボゴタ
-04:00	サンティアゴ
-03:30	ニューファンドランド
-03:00	ブラジリア、ブエノスアイレス
-02:00	フェルナンド デ ノローニャ
-01:00	アゾレス、カポベルデ

使用上のご注意とお手入れ

AVCHD規格について

AVCHD規格とは

「AVCHD」規格は、高効率の圧縮符号化技術を用いて、HD(ハイビジョン)信号を記録するハイビジョンデジタルビデオカメラの規格です。映像圧縮にはMPEG-4 AVC/H.264方式を、音声にはドルビーデジタル方式、またはリニアPCM方式を採用しています。

MPEG-4 AVC/H.264方式は、従来の画像圧縮方式に比べ、さらに高い圧縮効率を持った優れた方式です。また、3D及び60p/50p記録が追加された「AVCHD規格 Ver.2.0」では、3Dの映像圧縮にMPEG-4 MVC/H.264方式を採用しています。

- AVCHDは圧縮方式を使用しているため、画面、画角、輝度などが大きく変化する場面では画像が乱れることがあります(故障ではありません)。

GPSについて(DEV-50V)

GPS(Global Positioning System)とは、米国の高精度な航法衛星を利用した地球上のどこにいても自分の正確な位置を知ることができるシステムです。

GPS衛星は、高度20,000kmの6つの軌道上に各4個、24個以上が設置されています。GPS衛星からの電波を受信し、衛星の軌道情報(アルマナックデータ)と電波の伝播時間のデータなどから自分の位置を計算します。

位置を計算することを測位と呼び、衛星は3機以上受信できれば、緯度、経度がわかります。

- GPS衛星の配置は常に変化しているため、ご使用になる場所や時刻などの条件によっては測位に時間がかかったり、測位できないことがあります。
- GPSは衛星から電波を受信し測位するシステムです。ビルや木立の陰など、電波を遮断・反射してしまう場所を避け、できるだけ上空の開けた場所でご使用ください。
- GPS衛星からの電波が届かない以下のようないくつかの場所や状況では、位置情報を記録できないことがあります。
 - トンネルの中・屋内やビルの陰
 - 高層ビルの間・建物の間の狭い道路
 - 地下・密集した樹木の間・高架の下・高压電線など、近くに磁気を発生するものがある場合
 - 1.5GHz帯の携帯電話など、近くに同じ周波数帯の電波を発生するものがある場合
- [GPS]が[入]の状態で撮影した画像をインターネットに公開、共有すると、意図せずに撮影場所が第三者に知られる場合があります。その場合は[GPS]を[切]にして撮影してください(62ページ)。

誤差について

- 本機の電源を入れた直後に移動すると、移動しなかった場合にくらべて、測位までの時間が長くなることがあります。
- GPS衛星自体による誤差
本機は、3個以上のGPS衛星からの電波を受信すると自動的に現在地を測位します。GPS衛星自体による誤差は、約10m程度ですが、測位する周辺の環境によってはさらに大きな誤差を生じることがあります。このような場合は、実際に居た場所と位置が異なることがあります。また、GPS衛星は米国国防総省により管理されており、意図的に精度が変更されることがあります。
- 測位時間による誤差
本機では測位中に位置情報を定期的に取得しています。

規制について

- ・ 使用する国や地域、またご利用になる場所の規制に従ってGPSをお使いください。

測地系について

- ・ 本機では、測地系として、「WGS-84」を採用しています。

メモリーカードについて

- ・ パソコン(Windows OS/Mac OS)でフォーマット(初期化)したメモリーカードは、本機での動作を保証しません。
- ・ お使いのメモリーカードと機器の組み合わせによっては、データの読み込み・書き込み速度が異なります。
- ・ 次の場合、画像ファイルが破壊されることがあります。破壊された場合、内容の補償についてはご容赦ください。
 - 画像ファイルを読み込み中や、メモリーカードにデータを書き込み中(アクセスランプが点灯中および点滅中)に、メモリーカードを取り出したり、本機の電源を切ったりした場合
 - 静電気や電気的ノイズの影響を受ける場所で使った場合
- ・ 大切なデータは、パソコンのハードディスクなどへバックアップを取っておくことをおすすめします。
- ・ メモリーカード本体およびメモリーカードアダプターにラベルなどは貼らないでください。故障の原因になります。
- ・ 端子部に触れたり、金属を接触させたりしないでください。
- ・ 強い衝撃を与えたる、曲げたり、落としたりしないでください。
- ・ 分解したり、改造したりしないでください。
- ・ 水にぬらさないでください。
- ・ 小さいお子さまの手の届くところに置かないようにしてください。誤って飲み込むおそれがあります。

・ メモリーカードスロットには、対応するサイズのメモリーカード以外は入れないでください。故障の原因となります。

- ・ 次の場所での使用や保管は避けてください。

- 高温になった車の中や炎天下など気温の高い場所
- 直射日光のある場所
- 湿気の多い場所や腐食性のものがある場所

使用できるメモリーカードについて

- ・ 標準の“メモリースティック”の約半分の大きさの“メモリースティック PRO デュオ”、または標準の大きさのSDカードのみ使えます。
- ・ 使用可能なメモリーカードの最新情報につきましてはホームページをご確認ください(89ページ)。

メモリーカードアダプターの使用について

- ・ メモリーカードをメモリーカードアダプターに入れるときは、正しい挿入方向をご確認のうえ、奥まで差し込んでください。差しこみかたが不充分だと、正常に動作しない場合があります。

画像の互換性について

- ・ 本機は(社)電子情報技術産業協会にて制定された統一規格“Design rule for Camera File system”に対応しています。
- ・ 他機で使用的したメモリーカードが本機で使えないときは、本機でフォーマットしてください(58ページ)。フォーマットするとメモリーカードに記録してあるデータはすべて消去されますので、ご注意ください。
- ・ 次の場合、正しく画像を再生できないことがあります。
 - パソコンで加工した画像データ
 - 他機で撮影した画像データ

“メモリースティック”について

“メモリースティック”の種類	記録・再生
“メモリースティック デュオ” (マジックゲート対応)	—
“メモリースティック PRO デュオ”(Mark2)	○
“メモリースティック PRO-HG デュオ”	○
“メモリースティック XC-HG デュオ”	○

- 本機は8ビットパラレルデータ転送には対応していません。“メモリースティックPROデュオ”と同等の4ビットパラレルデータ転送を行います。
- 本機はマジックゲート機能を使ったデータの記録・再生に対応していません。“マジックゲート”とは暗号化技術を使って著作権を保護する技術です。

InfoLITHIUM(インフォリチウム)バッテリーについて

本機は“インフォリチウム”バッテリー(Vシリーズ)のみ使用できます。それ以外のバッテリーは使えません。また、“インフォリチウム”バッテリーVシリーズであっても、NP-FV70/FV100以外は使えません。“インフォリチウム”バッテリーVシリーズにはマークがついています。

InfoLITHIUM(インフォリチウム)バッテリーとは？

- “インフォリチウム”バッテリーは、本機や別売のACアダプター/チャージャーとの間で、使用状況に関するデータを通信する機能を持っているリチウムイオンバッテリーです。
- “インフォリチウム”バッテリーが、本機の使用状況に応じた消費電力を計算してバッテリー残量を分単位で表示します。

充電について

- 本機を使う前には、必ずバッテリーを充電してください。
- 周囲の温度が10℃～30℃の範囲で、CHG(充電)ランプが消えるまで充電することをおすすめします。これ以外では効率の良い充電ができないことがあります。

バッテリーの上手な使いかた

- 周囲の温度が10℃未満になるとバッテリーの性能が低下するため、使える時間が短くなります。安心してより長い時間使うために、次のことをおすすめします。
 - バッテリーをポケットなどに入れて温かくしておき、撮影の直前、本機に取り付ける
 - 高容量バッテリー「NP-FV100」を使う
- 撮影には予定撮影時間の2～3倍の予備バッテリーを準備して、事前にためし撮りをしましょう。
- バッテリーは防水構造ではありません。ぬらさないようにご注意ください。

バッテリーの残量表示について

- バッテリーの残量表示が充分なのに電源がすぐ切れる場合は、再び満充電してください。残量が正しく表示されます。ただし、長時間高温で使ったり、満充電で放置した場合や、使用回数が多いバッテリーは正しい表示に戻らない場合があります。撮影時間の目安として使ってください。
- バッテリー残量時間が約20分程度でも、ご使用状況や周囲の温度環境によってはバッテリー残量が残り少なくなったことを警告する△マークが点滅することがあります。

バッテリーの保管方法について

- バッテリーを長期間使用しない場合でも、機能を維持するために1年に1回程度満充電にして本機で使い切ってください。本機からバッテリーを取り外して、湿度の低い涼しい場所で保管してください。

- 本機でバッテリーを使い切るには、[MENU](メニュー)→[セットアップ]→[一般設定]→[パワーセーブ]→[切]に設定し、電源が切れるまで撮影スタンバイにしてください(63ページ)。

バッテリーの寿命について

- バッテリーには寿命があります。使用回数を重ねたり、時間が経過するにつれバッテリーの容量は少しづつ低下します。使用できる時間が大幅に短くなった場合は、寿命と思われますので新しいものをご購入ください。
- 寿命は、保管方法、使用状況や環境、バッテリーパックごとに異なります。

本機の取り扱いについて

使用や保管場所について

使用中、保管中にかかわらず、次のような場所に置かないでください。

- 異常に高温、低温または多湿になる場所
炎天下や熱器具の近くや、夏場の窓を閉め切った自動車内は特に高温になり、放置すると変形したり、故障したりすることがあります。
- 激しい振動や強力な磁気のある場所
故障の原因になります。
- 強力な電波を出す場所や放射線のある場所
正しく撮影できないことがあります。
- TV、ラジオやチューナーの近く
雑音が入ることがあります。
- 砂地、砂浜などの砂ぼこりの多い場所
砂がかかると故障の原因になるほか、修理できなくなることもあります。
- ファインダーやレンズが太陽に向いたままとなる場所(窓際や室外など)
ファインダーやレンズ内部を傷めます。

長期間使用しないときは

- 本機を良好な状態で長期にわたってお使いいただくために、月に1回程度、本機の電源を入れて撮影および再生を行ってください。
- バッテリーは使い切ってから保管してください。

結露について

結露とは、本機を寒い場所から急に暖かい場所へ持ち込んだときなどに、本体内に水滴が付くことで、故障の原因になります。

- 結露が起きたときは
電源を入れずに、結露がなくなるまで(約1時間)放置してください。
- 結露が起こりやすいのは
次のように、温度差のある場所へ移動したり、湿度の高い場所で使ったりするときです。
 - スキー場のゲレンデから暖房の効いた場所へ持ち込んだとき
 - 冷房の効いた部屋や車内から暑い屋外へ持ち出したとき
 - スコールや夏の夕立の後
 - 温泉など高温多湿の場所
- 結露を起こりにくくするために
本機を温度差の激しい場所へ持ち込むときは、ビニール袋に空気が入らないように入れて密封します。約1時間放置し、移動先の温度になじんでから取り出します。

本機表面のお手入れについて

- 汚れのひどいときは、水やぬるま湯を少し含ませた柔らかい布で軽く拭いた後、からぶきします。
- 本機の表面が変質したり塗装がはげたりすることがあるので、以下は避けてください。
 - シンナー、ベンジン、アルコール、化学ぞうきん、虫除け、殺虫剤、日焼け止めのような化学薬品類
 - 上記が手に付いたまま本機を扱う
 - ゴムやビニール製品との長時間接触

レンズのお手入れと保管について

- レンズ面に指紋などが付いたときや、高温多湿の場所や海岸など塩の影響を受ける環境で使ったときは、必ず柔らかい布などでレンズの表面をきれいに拭いてください。
- 風通しの良い、ゴミやほこりの少ない場所に保管してください。
- カビの発生を防ぐために、上記のお手入れは定期的に行ってください。

同梱品の取り扱いについて

キャリングケースに収納する際、双眼鏡本体が濡れている場合はよく拭き取ってから収納してください。キャリングケースやネックストラップが濡れた際は、使用後よく乾燥してから保管してください。

内蔵の充電式電池について

本機は日時や各種の設定を電源の入/切と関係なく保持するために、充電式電池を内蔵しています。充電式電池は本機を使っている限り常に充電されていますが、使う時間が短いと徐々に放電し、3か月近くまったく使わないと完全に放電してしまいます。充電してから使ってください。ただし、充電式電池が充電されていない場合でも、日時を記録しないのであれば本機を使えます。

充電方法

本機を付属のACアダプターを使ってコンセントにつなぐか、充電されたバッテリーを取り付け電源を切って24時間以上放置する。

メモリーカードを廃棄・譲渡するときのご注意

本機やパソコンの機能による「フォーマット」や「削除」では、メモリーカード内のデータは完全には消去されないことがあります。メモリーカードを譲渡するときは、パソコンのデータ消去用ソフトなどを使ってデータを完全に消去することをおすすめします。またメモリーカードを廃棄するときは、メモリーカード本体を物理的に破壊することをおすすめします。

商標について

- "AVCHD 3D/Progressive"および"AVCHD 3D/Progressive"ロゴは、ソニー株式会社とパナソニック株式会社の商標です。
- "Memory Stick"、"メモリースティック"、、"メモリースティック デュオ"、**MEMORY STICK DUO**、"メモリースティック PRO デュオ"、**MEMORY STICK PRO Duo**、"メモリースティック PRO-HG デュオ"、**MEMORY STICK PRO-HG Duo**、"メモリースティック XC-HG デュオ"、**MEMORY STICK XC-HG Duo**、"マジックゲート"、**MAGIC GATE**、"MagicGate Memory Stick"、"マジックゲート メモリースティック"、"MagicGate Memory Stick Duo"、"マジックゲート メモリースティック デュオ"はソニー株式会社の商標または登録商標です。
- InfoLITHIUM(インフォリチウム)はソニー株式会社の商標です。
- "x.v.Color"はソニー株式会社の商標です。
- "BIONZ"はソニー株式会社の商標です。
- ブラビアはソニー株式会社の登録商標です。
- Blu-ray Disc™及びBlu-ray™はブルーレイディスク アソシエーションの商標です。
- Dolby、ドルビー、およびダブルD記号は、ドルビーラボラトリーズの商標です。
- HDMI、HDMI High-Definition Multimedia InterfaceおよびHDMIロゴは、HDMI Licensing LLCの商標もしくは米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Microsoft、Windows、Windows Vista、DirectXはMicrosoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Mac、Mac OSはApple Inc.の米国およびその他の国における登録商標です。
- Intel、Intel Core、Pentiumは、アメリカ合衆国およびその他の国におけるインテル コーポレーションまたはその子会社の商標または登録商標です。
- "プレイステーション®3"は株式会社ソニー・コンピュータエンタテインメントの商品です。また、""、"プレイステーション"および"PlayStation"は同社の登録商標です。
- Adobe、Adobe logo、Adobe Acrobatは、Adobe Systems Incorporatedの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- SDXCロゴはSD-3C, LLCの商標です。

- Facebook、"f"ロゴはFacebook, Inc.の商標または登録商標です。
- YouTubeおよびYouTubeロゴは、Google Inc.の商標または登録商標です。

その他の各社名および各商品名は各社の登録商標または商標です。なお、本文中では、TM、[®]マークは明記していません。

ライセンスに関する注意

本製品は、MPEG LA, LLC.がライセンス活動を行っているAVC PATENT PORTFOLIO LICENSEの下、次の用途に限りライセンスされています：

(i) 消費者が個人的又は他の報酬を受けていない使用目的で、MPEG-4 AVC規格に合致したビデオ信号(以下、AVC VIDEOといいます)にエンコードすること。

(ii) AVC VIDEO(消費者が個人的又は他の報酬を受けていない目的でエンコードしたもの、若しくは MPEG LAよりライセンスを取得したプロバイダーがエンコードしたものに限られます)をデコードすること。

なお、その他の用途に関してはライセンスされていません。プロモーション、商業的に利用することに関する詳細な情報につきましては、MPEG LA, LLC.のホームページをご参照ください。

本製品には、弊社がその著作権者とのライセンス契約に基づき使用しているソフトウェアが搭載されております。当該ソフトウェアの著作権者様の要に基づき、弊社はこれらの内容をお客様に通知する義務があります。

ライセンス内容(英文)に関しては、CD-ROMの[LICENSE]内にあるファイルをご一読ください。

GNU GPL/LGPL適用ソフトウェアに関するお知らせ

本製品には、以下のGNU General Public License(以下「GPL」とします)またはGNU Lesser General Public License(以下「LGPL」とします)の適用を受けるソフトウェアが含まれております。お客様は添付のGPL/LGPLの条件に従いこれらのソフトウェアのソースコードの入手、改変、再配布の権利があることをお知らせいたします。

ソースコードは、Webで提供しております。

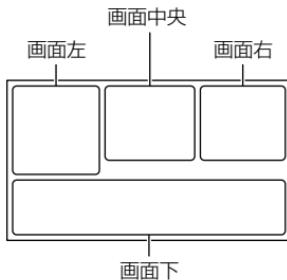
ダウンロードする際には、以下のURLにアクセスし、モデル名DEV-50をお選びください。

<http://www.sony.net/Products/Linux/>

なお、ソースコードの中身についてのお問い合わせはご遠慮ください。

ライセンス内容(英文)に関しては、CD-ROMの[LICENSE]内にあるファイルをご一読ください。

画面表示



画面左

表示	意味
MENU	メニューボタン(45)
⌚	セルフタイマー(53)
GPS	GPS測位状況(28)
[OFF] [REC] [PLAY]	顔検出(54)
[REC] [PLAY]	手動フォーカス(50)
[REC] [PLAY] [SCENE]	シーンセレクション(52)
[REC] [PLAY] [WB]	ホワイトバランス(49)
[REC] [PLAY] [WB]	手ブレ補正(53)
WS	WBシフト(51)
TV	テレマクロ(53)
👤	訪問先(63)
👤 🎂 🎉 🎈 🎈 🎈	おまかせオート(27)

画面中央

表示	意味
[スタンバイ]/ [●録画]	撮影状態(20)
➡	スライドショー設定
⌚ [REC] [PLAY]	警告(70)
HDMI [REC]	再生表示(23)

画面右

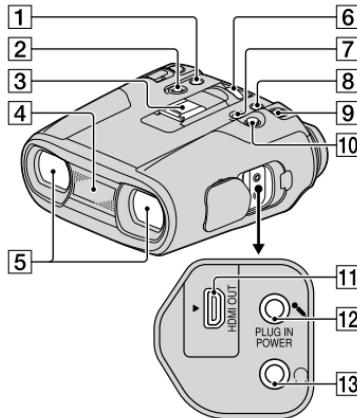
表示	意味
HDMI 60i HQ	フレームレート (60p/60i/50p/50i)/ 録画モード(PS/FX/FH/ HQ/LP)(27)
60分 [REC]	バッテリーの残容量表 示(撮影・再生可能時間)
16:9 [REC] 20.4M	静止画サイズ(57)
[REC]	記録/再生/編集メディア (16)
[USB]	外付けメディア接続中 (41)
0:00:00	カウンター(時:分:秒)
00分	記録残量時間の目安
9999 [REC] → [REC]	およその静止画撮影可 能枚数
101 ▶	メモリーカードの再生 フォルダ
100/112	再生中の動画・静止画 の番号/記録している動 画・静止画の数
[REC]	2D撮影/再生
[3D]	3D撮影/再生
画面下	
表示	意味
[REC]	画像再生ボタン(22)
[REC]	撮影モードボタン (MODE)(21)
🔇	マイク基準レベル低 (55)
🔇 off	くっつき音声切(54)
🔇 off	自動風ノイズ低減切 (55)
💡	Low Lux(51)
[HYPER]	ハイパーゲイン(52)
↔	カメラ明るさ(50)
EV	AEシフト(51)
500	シャッタースピード (51)
F1.8	絞り(51)
[AUTO]	おまかせオート(27)

各部のなまえ

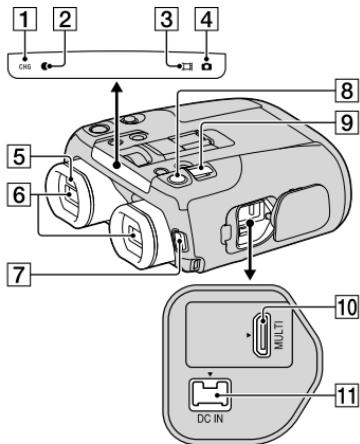
表示	意味
◀▶	スライドショーボタン
101-0005	データファイル名(23)
●●	プロテクト(31)
◎◎	3D奥行き調整(29)
オート	オート時(30)
マニュアル	カメラ明るさマニュアル設定時(30)

- 表示内容や位置は目安であり、実際と異なることがあります。
- お使いの機種によって表示されないものがあります。

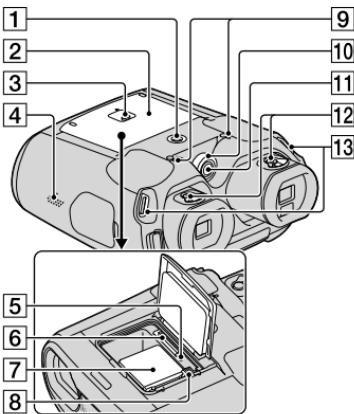
()内は参照ページです。



- ① MODE(モード)ボタン(21)
- ② POWER(電源)ボタン(13)
- ③ アクセサリーシュー
- ④ 内蔵マイク
- ⑤ レンズ
- ⑥ IPD ADJダイヤル(14)
- ⑦ ▶(画像再生)ボタン(22)
- ⑧ FINDER 2D/3D(ファインダー表示切り換え)ボタン(19)
- ⑨ START/STOP(スタート/ストップ)ボタン(20)
- ⑩ マルチセレクター(14)
- ⑪ HDMI OUT端子(24)
- ⑫ ◇(マイク)端子(PLUG IN POWER)
- ⑬ ◇(ヘッドホン)端子



- [1] CHG(充電)ランプ(11)
- [2] 録画ランプ(62)
録画時に赤く点灯します。
メモリーカードやバッテリーの残量が少なくなると点滅します。
- [3] フル(動画)ランプ(20)
- [4] カメラ(静止画)ランプ(21)
- [5] アイセンサー
- [6] ファインダー
- [7] START/STOP(スタート/ストップ)ボタン(20)
- [8] PHOTO(フォト)ボタン(22)
- [9] ズームレバー(18)
- [10] マルチ/マイクロUSB端子(24)
マイクロUSB規格に対応した機器をつなぐことができます。
- [11] DC IN端子(11)



- [1] 三脚用ネジ穴
三脚(別売、ネジの長さが5.5mm以下)を取り付けます。
三脚の仕様によっては、適切な方向で取り付けられない場合があります。
- [2] バッテリー/メモリーカードカバー(11)
- [3] バッテリー/メモリーカードカバーボタン(11)
- [4] スピーカー
- [5] メモリーカードアクセスランプ(17)
点灯、点滅中は、データの読み書きを行っています。
- [6] メモリーカードスロット(17)
- [7] バッテリーパック(11)
- [8] バッテリー取り外しつまみ(12)
- [9] 排出穴(5)
- [10] MANUALダイヤル(29)
- [11] MANUALボタン(29)
- [12] 視度調整つまみ(13)
- [13] ネックストラップ取り付け部

索引

ア

- 緯度経度データ 60
- イベントインデックス 22
- インストール 35
- 打ち上げ花火 52
- エリア設定 63
- 屋外 49
- 屋内 49
- お知らせメッセージの例 72
- お手入れ 78
- おまかせオート 27
- 音量 23, 60

カ

- 海外 76
- 海外で充電 12, 76
- 顔検出 54
- 画質・画像サイズ 56
- 画像サイズ 57
- カメラ明るさ 50
- カメラデータ 59
- カメラ・マイク 49
- 画面表示 84
- 画面表示設定 56
- 管理ファイル修復 69, 71
- 記録時間・枚数 74
- くっきり音声 54
- グリッドライン 55
- 結露 81
- 言語設定 62
- 広角 18
- 故障かな?と思ったら 65
- コピー 40
- コンセントの電源で使う 12

サ

- サイドバイサイド 60
- 削除 30
- 撮影モード 49
- サマータイム 63
- サムネイル 30
- 三脚 86
- シーンセレクション 52

自己診断・警告表示

- 自己診断・警告表示 70
- 自動3Dレンズ調整 52
- 自動エリア補正 64
- 自動風ノイズ低減 55
- 自動逆光補正 54
- 自動時刻補正 64
- 絞り 51
- シャッタースピード 51
- 充電 11
- 使用可能時間 74
- 使用上のご注意 2, 78
- ズーム 18
- スノー 53
- スポットライト 52
- 静止画 21
- 設定リセット 63
- セルフタイマー 53
- 双眼鏡 18
- 操作音 62
- 外付けメディア 40
- その他の機能 58
- ソフトウェア 35

タ

- ダイヤル設定 29
- ダイレクトコピー 42
- ディスクレコーダー 43
- ディスクを作る 38
- デジタルズーム 54
- 手ブレ補正 53, 54
- テレビ 24
- テレビ方式 76
- テレマクロ 53
- 電源 13
- 動画 20
- 時計設定 63
- 取り扱い上のご注意 81
- 撮る 20, 21

ナ

- 日時設定 14, 63

ハ

- パソコン 34
- ハイパーテイン 52
- パソコン環境 35
- バッテリー 11
- バッテリーインフォ 63
- パワーセーブ 63
- ピーチ 52
- 日付/データ表示 16, 23, 28, 44, 59
- 日付時刻データ 16, 59
- 日の出&夕焼け 52
- ファイル番号 59
- ファインダー明るさ 61
- ファインダー調整 61
- 風景 52
- フォーカス 50
- フォーマット 58
- 付属品 9
- ブルーレイディスク 36, 42
- フレームパッキング 60
- フレームレート 56
- プロジェクト 31
- 編集 30
- 編集・コピー 58
- 望遠 18
- ポートレート 52
- ホワイトバランス 49

マ

- マイク基準レベル 55
- マイボタン登録 55
- マルチセレクター 14
- 満充電 11
- メディア情報 58
- メニュー 45, 46
- メモリーカード 16
- “メモリースティック” 79
- “メモリースティック PRO-HG デュオ” 16, 80
- “メモリースティック PRO デュオ”(Mark2) 16
- “メモリースティック XC-HG デュオ” 16, 80

ヤ

夜景 52

ラ

録画モード 27

録画ランプ 62

ワ

ワンプッシュ 49

数字

2D/3Dモード切換 57

2Dモード撮影/3Dモード

撮影 20

3D奥行き調整 24, 29

16:9 60

4:3 60

60i/50i切換 62

アルファベット

AEシフト 51

AVCHD規格 78

AVCHDディスクを
再生する 38

AVケーブル 25

FH 27

FX 27

GPS 28, 62

GPS情報 61

HDMI 3D方式切換 60

HDMI解像度 60

HDMI機器制御 61

HQ 27

InfoLITHIUMバッテリー 80

Low Lux 51

LP 27

Mac 34, 37

MANUALダイヤル 29

MPEG-4 AVC/H.264 78

NTSC 76

PAL 76

PlayMemories Home 9, 34

PlayMemories Home ヘルプ
ガイド 9, 37PlayMemories Homeを
起動する 37

PS 27

TVタイプ 60

USB LUN設定 61

USB接続 61

VBR 75

WBシフト 51

Windows 35

X.V.Color 57

製品の最新サポート情報

(製品に関するQ&A、パソコンとの接続方法、使用可能なメモリーカードなど)

<http://www.sony.jp/support/binoculars/>

製品ホームページ

<http://www.sony.jp/binoculars/>

製品の最新情報、撮影テクニック、アクセサリーなどに関する情報を掲載しています。

ソフトウェアのサポート情報

<http://www.sony.co.jp/support-disoft/>

よくあるお問い合わせ、窓口受付時間などはホームページをご活用ください。

<http://www.sony.jp/support/>

使い方相談窓口	修理相談窓口
フリーダイヤル 0120-333-020	フリーダイヤル 0120-222-330
携帯・PHS・一部のIP電話 0466-31-2511	携帯・PHS・一部のIP電話 0466-31-2531

※ 取扱説明書等の購入相談はこちらへ
お問い合わせください。

FAX(共通)0120-333-389



上記番号へ接続後、最初のガイダンスが流れている間に

「400」+「#」(本機や付属品)

「404」+「#」(ソフトウェア「PlayMemories Home」)

を押してください。直接、担当窓口へおつなぎします。